

第七十四回帝國議會
衆議院

青年學校教育費國庫補助法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月二十日(月曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事武知 勇記君 理事長野 高一君

理事會和 義式君 理事一ノ瀬俊民君

多田 滿長君 手代木隆吉君

佐藤 與一君 長野 長廣君

庄司 一郎君 田子 一民君

河上 哲太君 坂本宗太郎君

河合 義一君 椎尾 辨匡君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省專門 學務局長 男爵山川 建君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

文部省社會教育局長 田中 重之君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

○野村委員長 是ヨリ開會致シマス——長

野君

○長野(長)委員 荒木文部大臣ハ萬民輔

翼、東亞新秩序ノ建設ナル歷史的旗印ヲ掲

ゲテ起チマシタ平沼内閣ノ中ニ、文教ノ府

ノ長官トシテ稀ニ見ル將軍大臣トシテ迎ヘ

入レラレタノデアリマス、國民ハ此ノ大臣

ニ期待スル所ガ絶大デアリマス、此ノ機會

ニ於キマシテ、政府ハ青年義務教育ノ實施

ヲ斷行セラレ、又非常時局ニ即應シタル教

育ノ革新ヲ計畫セラレテ居ルヤウデアリマ

スガ、現在及ビ將來ノ青年教育、其ノ他教

育一般ニ對シテ、如河ナル抱負ヲ御持チデ

アリマセウカ、率直ニ御發表ヲ願ヒマス

○荒木國務大臣 青年層ノ義務教育ハ、我

國ガ列國ニ率先シテ試ミタ極メテ重要ナ一

ツノ施設デアリマス、由來一ツノ學歷ヲ以

テ國家ノ中樞人物ノ養成ノ一ツノ理念トシ

テ居ツタコトニ對シテ、國家ノ中堅層悉ク

ヲ舉ゲテ一ツノ國家有用ノ材トシテ教養シ

テ行クト云フ所ニ、青年學校ノ義務制ガ極

メテ重要性ヲ持ツモノト考ヘルノデアリマ

ス、隨ヒマシテ此ノ青年層ノ義務教育ハ、單

ニ自己ノ環境カラ來ル高等ノ教育ヲ受ケラ

レナイ者ヲ教育スルト云フ、教育ノ機會均等

ト云フ意味バカリデナク、寧ロ實際的ノ訓

練ノ中カラ、又教育ノ中カラ將來有爲ノ材

ヲ、此處ニ求メテ行クト云フ一ツノ考モ此

處ニ持タセデアリマス、更ニ大キナ意味ニ

於テハ、國民悉クガ舉ゲテ此ノ義務教育ノ

下ニ、極メテ堅實ナル歩ミヲ將來ニ持ツテ

行ク、國家總體ノ力ガ、其ノ青年層ノ一貫

シタル思想及ビ能力ニ依ツテ興隆スル途ヲ

圖ル、斯ウ云フ所ニ青年學校ノ義務制ノ重

要性ヲ持ツテ居ルト考ヘマスノデ、之ニ對

シテハ殆ド歐米ニ據ルベキ、又深キ經驗ヲ

積シテ手本ガ無イノデアリマス、隨テ非常

ナ覺悟ヲ以テ將來此ノ完全ヲ期セネバナラ

スト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○長野(長)委員 只今ノ御説明ヲ承ツテ見

マス、國民全體一ツニナツテ此ノ教育ニ

盡サナケレバナラス、即チ廣イ意味ニ於ケ

ル教育ノ一元化ヲ徹底スル、洵ニ結構ト思

ヒマス、然ラバ果シテドウ云フ方法デ此ノ

大局ニ著眼ヲシタ教育ノ一元化ヲ爲スベキ

カ、是ガ教育ノ行政ヲ掌ラレル上ニ於テ、

最モ大事ナ問題デアルト思ヒマス、此ノ教

育ノ一元化、ソレカラ今一ツハ教育ノ運營

ハ教師其ノ人ニアリマス、而シテ此ノ歷史

的劃期的重大時期ニ於キマシテ、教師其

ノ人ガ十分ニ其ノ力ヲ發揮シテ、教育ノ全

キヲ收メルト云フコトニ付キマシテハ、教

師ノ教權ヲ尊重スル、即チ教育者トシテノ

權威ヲ尊重シナクテハナラヌト思フノデア

リマス、ソコデ本日私ガ御質問ヲ申上ゲタ

イト思ヒマスコトハ、第一ハ教育一元化ノ

徹底、第二ニハ教權ノ尊重確立、此ノ二ツ

ノ大問題ニ付キマシテ、御質問ヲ申上ゲテ

見タイト思ヒマス

只今大臣ノ御説明ヲ伺ヒマス、國民

ガ全體一致トナツテ教育ノ爲ニ盡ス、一元

化ヲ顯現スルト仰シヤルノデアリマス、然

ルニ此ノ青年學校ノ規定ハ固ヨリ、一般教

育ニ對スル法令制度ト云フモノハ、孰レモ

天降りデアリマス、官吏ガ机上デ計畫ヲ

シタモノデアルト謂ハナケレバナリマセス、

即チ勅令ヲ以テ官吏ノ想念ヲ表現シタモノ

デアリマス、眞ニ國民ノ總意ヲ此ノ教育ニ表現

セントスルニハ、青年教育制度ヲ法律ヲ以

テ定メル、詰リ立憲的ニ之ヲ定メル、此ノ議

會ニ於キマシテ全智全能ヲ集中スルヲ要ス

ル、而モ大臣ガ仰シヤル實際教育、實際生活

ト云フコトニ徹スル上ニ於キマシテハ、國民

ノ實際生活カラノ要求要望ト云フモノヲ、

十分ニ此ノ制度ノ中ニ採入レマシテ、サウシ

テ國民總力ノ集中ヲ爲サシムルト云フコトガ、必要デハナイカト思フノデアリマス、此ノ意味ニ於テ大臣ハ、眞ニ國民ノ總力ヲ集中セシムル意味カラ、立憲的ニ此ノ青年教育ニ關スル規定ヲ法律ヲ以テ定メル、青年教育法ノ制定ヲ急ガレル必要ガアリハシナイカ、又今日青年トハ、小學校ヲ卒業シテカラ少クトモ二十五歳位マデノ青年團員、及ビ同一期間ニ於ケル青年學校、該當年齡者、斯ウナツテ居リマス、斯ク現在ノ青年教育ハ、青年團ト青年學校ト云フ二ツニ分レマシテ、同じモノガ二ツノ制度ノ下ニ於テ教育サレ、訓練サレテ居ルノデアリマス、私ノ提唱セントスルノハ此ノ二ツヲ共ニ青年教育法ナル法律ノ下ニ包含ヲ致シマシテ、而シテ後一ハ青年團ニ關スル法令、他ハ青年學校ト云フ法令ヲ法律ヲ以テ定メマシテ、サウシテ青年教育ヲ一元化スベシト云フノデアリマス、而シテ其ノ法律ニ依リ定メタル制度タルヤ帝國議會ヲ通シテ國民ノ全智全能ヲ集中セラレタモノデアル、之ニ依ツテ教育サレタル青年ノ實生活ハ竈ノ隅カラ田畑ノ底土ニ至ルマデ其ノ全心全靈ガ表現セラレテ居ルト云フコトニナラナケレバナラナイカト思フノデアリマス、彼ノ獨逸トカ、或ハ伊太利トカ云ガ如キ專制的

教育制度ハ、教育ニハ禁物デアリマス、宜シク之ヲ立憲的ニ、平沼首相ガ幾多ノ機會ニ叫バレタ所謂立憲政治ト云フモノヲ尊重セラレ、サウシテ此ノ立憲政治ニ基調シ、帝國議會ヲ通シテ確立セラレタル劃期的ノ青年教育法ノ制定ヲセラレルト云フコトデナケレバ、到底先程述べラレタ大臣ノ御抱負ヲ實現スルコトハ困難デハナイカト思フ、大臣ハ法律ヲ以テシナクシテ目的ヲ達シ得ルト御考ヘデアリマセウカ、又私ノ意見ガ適當デゴザイマセウカ、之ニ對シテ御高見ヲ承リタイト存ジマス

○荒本國務大臣 教育ノ一元化徹底ノ爲ニ、國民ノ總意ヲ酌シテ之ヲ立憲的ニ行フコトガ最も效果的デハアルマイカ、而シテ伊太利、獨逸ノ如ク唯強壓デハ十分ニ效果ヲ擧ゲ難イデアラウ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ承ツタノデアリマス、青年學校ノ義務制ノ目標ガ、先程申上ゲマシタヤウニ極メテ重要ナモノデアルトハ考ヘマスガ、御話ノ如ク獨逸、伊太利ニ於テ未ダソコマデ徹底シタ義務制ニハナツテ居ラナイノデアリマス、伊太利、獨逸ノ國情ガ、今日起テ上ル爲ニハア、云フ獨裁的ノ事行カネバナラナカツタ事情ト我國ノ事情トノ間ニハ、ソコニ又大キナ開キガアリマスルノデ、獨逸、伊太

利ノ行ウテ居ル所ノモノ、又其ノ方針其ノモノヲ直チニ採ルト云フコトハ、決シテ適當ナ方法トハ私ハ考ヘマセヌ、殊ニ我が國體カラ考ヘマシテ、立憲的ニ行フト云フ意味ハ、總理大臣モ言ハレマス通り、萬民輔翼ニ其ノ根源ガアルノデアリマス、所謂奉仕的ニ國民ガ皇獻ヲ翼贊シ奉ルト云フ所ニ、立憲政治ノ所謂立憲ノ大方針、御聖旨ノアルコトト存ジマス、斯様ナ意味ニ於テ無論官吏ガ自分ダケデ、此ノ頃ヨク流行リマスル獨善的ニ考ヘルヤウナコトガアツテハ、到底其ノ效果ハ擧ゲ得ナイト思フノデアリマス、サリナガラ官吏ノ問題ニ付キマシテハ、餘談ニ互リマスルケレドモ、此際一應、申上ゲテ置キタイト思フノデアリマスルガ、今日ノ官吏ガ動モスレバ世間批判ノ的ニナリマスルコトハ官吏其ノモノノ我國ノ制度ガ惡イニアラズシテ、吏道其ノモノノ確立ガナイト云フ所ニ原因ガアラウト思ヒマス、我が國體カラ官吏ハ自ラ任ジテ總テノ儀表トナツテ行クト云フ所ニ、所謂奉仕シテ行クト云フ所ニ官吏ノ分限令モアリ、此ノ道ガシツカリ吏道トシテ出來上リマスルナラバ、官吏ガ考ヘマスルコト、起案スルコトハ必ズ聖旨ニ副ヒ奉リ、又國民ノ要望スル所、希望スル所ニ能ク即スルコトニナルモ

ノト考ヘマスルノデ、机上デヤリマシタカラト云ツテ、其ノ點ガハツキリスルナラバ、茲ニ誤ハナイノダラウト思ヒマス、是ハ一言官吏ノコトニ付テノ點トシテ觸レマシタノデ申上ゲテ置キマスガ、斯様ニ考ヘマス、御趣旨ハ青年教育法ヲ一ツノ法律ニシテ、所謂立憲的ニヤツタラドウカ、是モ一應御尤ノコトデアリマス、青年學校ト青年團トノ二ツガアルコトハイカヌ、併シ青年學校ハ御承知ノヤウニ、職業的ニモ非常ナ關係ガアリマスルシ、更ニ進ンデ先程申述べタヤウニ、單ナル義務制デ是等ノ教育ニ當ルト云フコトニ止マラズシテ、此ノ中ヨリ必ズ中堅層ノ人ヲ作り出シ、見出シタイト思フ關係カラ、之ヲ將來十分ニ練ツテ、或ハサウ云フヤウナ法制トシテ規定ヲサル場合モアラウト思ヒマスルガ、何レニシテモ非常ニ各層ニ關係ガ多イノデアリマス、之ヲ十分ニ見合セ、又經驗ヲ積ンダ後ニ於テ、是等ノ點ニ到達スル場合ガアルノデハアルマイカ、而シテ青年團ノ問題ハ、是ハ一貫シタ教育ノ一ツノ趣旨ニナリマスルガ、今マデハ校内ノ教育ノミニ重キヲ置イテ、校外トノ連鎖ガ甚ダ乏シカツタガ爲ニ、校内教育以外ニ、所謂校外ノ一ツノ教育機關トシテ、或ハ訓練機關トシテ青年團、或ハ

少年團其ノ他ガ出來タノデアリマスルガ、今後ノ教育ハ校内ト校外トヲ合セル、知的修得ト行的鍛鍊トヲ合セル、茲ニ德性モ養ツテ、知行德一體トナツテ行クト云フコトガ、教育ノ方針デナケレバナラヌト思ヒマスノデ、隨テ校内ノ教育ト校外ノ訓練ト云フモノガ、兩者一ツノ手デ相俟ツテ一元化サレテ行カケレバナラヌ、青年學校ノ意味モ非常ニ重要性ヲ持チマシテ、青年學校ニ於テハ此ノ事柄ガ大キク實現ガ出來ルノデアラウト思ヒマス、隨テ其ノ時ニハ青年學校、青年團、是ガ校内ト校外トガ一ツノモノトシテ動ク、是ガ單ニ青年學校ノミナラズ、他ノ方面ニモ及ンデ行クノデハナイカ、今回ノ國民學校ノ制定モサレルト云フコトニナレバ、サウ云フ點ニ非常ニ大キナ意味ガアル、左様ナ時機ニ至リマスレバ今御話ニナリマシタウニ、或ハ是ガ一本ニナツテ、一ツノ法律トシテ青年教育法ト云フヤウナコトモ考ヘラレノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、今日ノ所ハマダ直チニ之ヲ施行スル程度ニ至ツテ居ラス斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 只今ノ御説明ニ依リマスルト、青年學校ガ校内及ビ校外ノ教育訓練ニ適當シテ居ルト云フコトデアリマス、然

ルニ青年團ノ訓練ニ於キマシテモ、ヤハリ是ハ校外ノ訓練ニ適當シタモノデアルト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ兩者ガ複雑トナツテ居ル、之ヲ法制ノ上ニ於テ統制スル、詰リ兩者ガ適當ニ摩擦ナク、又重複ナク圓滿ナ教育機關トシテ一元的ニ運行サレテ行クヤウニ致シマスルニハ、ヤハリ兩者ソレゾレノ制度モ法令モ勿論必要デアリマスルカラ、サウナケレバナラヌト思ヒマスルガ、同時ニ之ヲ統一シタ青年教育法ト云フ法律ノ生レ出ルコトガ必要デアラウト思ヒマス、少シクハツキリ私ニ聽取レナカツタノデアリマスルガ、青年教育法ト云フモノハ、必要ナモノデアルカナイカト云フコトガ一ツ、若シ必要ナモノデアルトスルナラバ、將來ソレニ向ツテ研究ヲ續ケ、一日モ早く其ノ實現ニ到達スルヤウニ努メル御意思ガアルカ、ソレヲモウ一回簡單ニ御伺シマス

○荒木國務大臣 只今御答ラシマシタ中ニ申述ベタ積リスデアリススガ、將來ニ於テ大イニ研究ヲ要スル問題デアツテ、諸般ノ各省關係及ビ各方面ノ關係ガアリマスノデ、直グニ之ニ著手スルト云フヤウナコトハ困難デアルト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 各省關係ヲ考慮セラレテ困難ガアルト云フ御答デアリマス、然ルニ青

年教育ノ場合ハ、此ノ時局ニ鑑ミマシテ特ニ急ガナケレバナラヌト私ハ思フ、何トナレバ今ヤ懸軍幾千里、海ニ陸ニ我等ノ青年ハ身命ヲ賭シテ活動致シテ居リマス、又現在ノ青少年ハ、此ノ幾年續クカ分ラナイ所ノ非常時局ニ於テ體身命ヲ賭シテ働カナケレバナラナイ者デアリマス、殊ニ此ノ問題ニ付テハ、先日陸軍大臣ノ表明セラレマシタ多兵主義、精兵主義、此ノ二ツノ重要問題ニ聯關シテ思フ致ス時ニ於キマシテ、何ヲ差措イテモ私ハ全國幾百万ノ青年ヲ、男子ト言ハズ女子ト言ハズ、此ノ皇軍ノ威力ヲ強メル意味ニ於ケル要望ニ對シテ、或ハ軍事教育ニシロ、或ハ公民職業教育ニシロ、直グニ是ハ徹底セシメナケレバナラナイコトデハナイカ、又銃後ノ國民運動ニ於キマシテ、此ノ國民軍ノ進軍ノ中ニ第一線ニ働イテ居ル者ハ、現在青年學校又ハ青年團ニ修養シテ居リマス所ノ生徒デアリマス、吾々ハ此ノ涙グマシキ全國幾百万ノ青年層ノ活動ヲ考ヘマス時ニ、斯ノ如キ貧弱ナル教育狀態ニ置イテ放任スルコトハ忍ビ得ザルモノデアルト思ヒマス、故ニ今日ト致シマシテハ種々制度ノ聯關ノミ拘泥致シマシテ、此ノ非常時局ニ於ケル急務中ノ急務ナル青年教育ノ制度ノ問題ニ付テ往再日

ヲ過スベキデハナイ、文部大臣トシテノ荒木將軍ニ國民ノ期待ヲシテ居ルモノノ中ニ於テ此ノ一點ノ解決ガ特ニ重大デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ意味カラ私ノ御尋申上ゲタイコトハ、今日農林省ハ農民道場ナドヲ造リマシテ、一種ノ青年教育ヲヤツテ居リマス、又商工省ハ技術員ノ養成、或ハ工場ニ於ケル青年職工ノ訓練ト云フ意味ニ於キマシテ、幾多ノ施設ヲ致シテ居リマス、其ノ他各省ニ於テ、種々形ハ變ツ

テ居リマスケレドモ、一種ノ青年教育ヲヤツテ居リマス、文部大臣ノ仰シヤラレル各省關係モ、是等ガ非常ナ問題ノ一ツデハナイカト存ズルノデアリマス、ソコデ此ノ問題ニ付テハ、文部當局トセラレテハ、各省區々ニ青年教育ガ無統制ノ間ニ行ハレル大缺陷ヲ考ヘラレテ、殊ニ各省割據ノ青年教育ヲ行ツテ居ル爲ニ、文相ノ特ニ共鳴セラレテ居ル立憲的ニ之ヲ變更スル、改善ヲスルト云フコトサヘ阻マレヨウトスルナラバ、此ノ問題ニ付キマシテハ、或ハ各省ヨリ青年教育委員ヲ出シテ一ツノ委員會ヲ拵ヘ、此ノ委員制度ノ下ニ於テ我國ノ特ニ重要ナ工業、農業、水産其ノ他ノ各方面ニ働ク青年層ニ對スル教育ヲ一元化スルト云フコトニ力ヲ盡サレルコトガ急務デハナイカ、

サウシテ一面此ノ委員會、其ノ他色々ノ斯カル統制施設ヲ本ニ致シマシテ、一日モ速ニ大臣ノ共鳴セラレタ法律ニ依リ規定スル立憲的青年教育制度ノ確立ヲ圖ルト云フコトガ急務デハナイカト思ハレルノデアリマス、之ニ對シテ如何ナル御見解ヲ持タレテ居ラレマスカ

○荒木國務大臣 今御述ニナリマシタ複雑ナル、例ヘバ農民道場、技術員ノ養成、其ノ他青年團モ其ノ一ツデアルト思ヒマシガ、仰セノ通りニ是等ハ當然此ノ青年學校ノ實施ト共ニ整理セラレ、能ク連繫セラレテ、農村ニ於テノ青年學校ノ義務制ノ實施、或ハ工場地帯ニ於ケル青年學校ノ義務制ノ實施、是等ハ職業ト相合セマスノゾ、當然一元化セラレテ青年ガ此ノ區々ニナツテ居ル爲ニ却ツテ身心ノ疲勞ヲ來シテ、效果ヲ減殺スルト云フヤウナコトガナイヤウニ、或ハ委員會ノヤウナモノヲ設ケル必要モアラウト思ヒマス、更ニ必要ガアレバ今仰セニナリマシタ青年教育法ニモ、更ニ進ムコトガ必要デアルト思ヒマス、仰セノ通りソレハ實施ト共ニ速ニ爲スベキ必要ガアラウト思ヒマス

○長野(長)委員 私ハ文部大臣ガ軍部ノ畑カラ文部省ニ入ラレマシテ、此ノ非常時局

ノ文政ニ當ラレタ御決心ヲ壯トシ、又時時ニ述ベラレタ御抱負ヲ承リマシテ、大イニ期待致シテ居ル者デゴザイマス、恐ラク國民全體ガ其ノ心境ニアルコトト想像致スノデアリマス、然ルニ一面文相ガ文教ノ府ニ居ラレテ仕事ヲセラルル上ニ於テ、非常ナ御困難ヲ感ジテ居ルト云フコトニ付テ御同情致シテ居リマス、文部省ハ中々ヤリニクイコトト思フノデゴザイマス、併シナガラ文相ハ靜ニ其ノヤリニクイ所ノ事情ノ根本ヲ洞察セラレテ、サウシテ此ノ神聖ナル文教、大臣、日本帝國ノ中樞原力ヲ培養スル所ノ文教大臣トシテノ御職責ヲ、一刀兩斷ノ下ニ解決セラレテ行クコトヲ期待シテ居ル者デゴザイマス、其ノ意味ニ於テ茲ニ御尋申上ゲタイコトハ、近時猶太思想ノ我ガ國民層ニ浸潤スルモノハ恐ルベキモノガアリマス、或ハ映畫、或ハ文學、或ハ體育、娛樂、是等ノモノヲ介シマシテ國民ノ思想ヲ蝕ミツツアル、殊ニ哲學概論ト云ヒ、經濟原論ト云ヒ、或ハ又憲法論ト云ヒ、法學通論ト云ヒ、此ノ思想ニ染マリマシテ、此ノ思想ノ毒ガ盛ラレマシテ、サウシテ過去ヨリ現在、又將來ニ國民ノ腦裡ニ浸潤ヲ爲シ、又爲サント致シテ居ルノデアリマス、大臣ハ此ノ思想根源ノ一掃ノ爲ニ大學ノ革新ヲ企圖シ

之ヲ斷行セラレテ居リマス、又其ノ他ノ思想的病弊ノ一掃ニ努力セラレテ居ルコトハ多トスル者デゴザイマス、ケレドモ大臣ガ其ノ部下ニ居ル中央地方ノ官吏ヲ統制致シテ御仕事ヲナサル上ニ於キマシテハ、現在ノ官吏ニ若シ其ノ思想ガアルトスルナラバ、其ノ思想ヲ根本カラ官吏ノ頭カラ抜イテシマハナケレバナラス、又此ノ教育ヲ受ケテソレガ腦裡ニ浸潤シテ居ル者ガ、官吏タルト實業界其ノ他社會ノ各方面ニ活動シテ居ル者タルト問ハズ、相當アルコトト思ヒマス、詰リ其ノ教育ヲ受ケタ者ガ多イカラ、自然ソレガ相當ニ多イト云フコトモ申スマデモナイコトデアリマス、是等ノ者ニ對シテ如何ニ日本學ノ徹底ヲ爲サントスルノデアルカ、殊ニ官吏、教育者等ニ對シテ日本學のナル教養ヲ與ヘ、拔本塞源ノ思想對策ヲ立テラレナケレバナスト思フ、昨年文部省ハ固ヨリ各方面ニ於テ思想的病者トシテ警察權ノ發動トナリタル者、亦文部省系統ニ少クナイト考ヘテ居リマス、茲ニ其ノ大臣ノ持タル抱負ニ對シテ、其ノ網羅スル所ノ行政官ニ大臣ト一舉手一投足ヲ同ジクシ得ラレナイ者ガアル爲ニ、荏苒日ヲ過シ、文教大臣トシテノ大任ヲ果スコトガ十分出來ナカツタラバ是ハ大變ダト思

フ、具體的ニハ申上ゲマセス、大臣ニハ十分御分リノコトデアリマス、此ノ思想病者、此ノ行政上ノ大困難、之ヲ解決スル爲ニ日本學ヲ、學者ト云ハズ教員ト言ハズ、又官吏ト言ハズ、社會各方面ノ人々ニ十分ニ打込シテ、猶太思想ノ浸潤ト云フ恐ルベキ思想的國防上ノ大缺陷ノ萌芽ニ對シテ、根本ヨリ排除スルト云フ具體的對策ヲ持タレテ居ルノデアリマセウカ、若シ無イナラバ私ノ意見ヲ申上ゲマスガ、速ニ之ヲ御立テニナラナケレバナラスト思ヒマス、先ヅ大臣ノ御抱負ヲ伺ヒタイノデアリマス

○荒木國務大臣 教育並ニ行政ヲ通ジテノ一般的ノ問題デアリマシテ、非常ニ事廣汎ニ互リ、根本問題ニ入ルノデアリマスガ、今日ノ狀態ニ對シテ各方面ニ不満足ノ聲ガ多イノデアリマスルガ、洵ニ遺憾ニ思ウテ居リマス、殊ニ教育ニ關係シテ幾多ノ批判ヲセラレルノデアリマス、決シテ其ノ事ガナイトハ申シマセス、一方ニ於テ教育ガ多大ノ貢獻ヲ舉ゲテ居ルト同時ニ、他方ニ於テ只今御指摘ニナツタヤウナコトノ昨今殊ニ弊害ヲ現出致シテ居ルコトハ事實デアリマス、顧ミマス——少シク根本ニ入リマスルケレドモ、明治維新ノ教育制度ノ確立セラレタ時ニハ、所謂王政復古デアリマシ

テ、五箇條ノ御誓文ヲ賜リマシテ、五箇條ノ御誓文ニ依ル我國ノ教育ノ確立ガ期セラレタコトハ御承知ノ通りデアリマス、即チ萬機公論ニ決スル、盛ニ經綸ヲ行フ、官武一途悉ク志ヲ遂ゲシムル、舊來ノ陋習ヲ打破シテ天地ノ公道ニ從フ、世界ニ知識ヲ求メテ大ニ皇基ヲ振起スル、此ノ五箇條ノ御誓文ガ明治維新ノ總テノ基礎デアリマシテ、教權モ茲ニ確立セラレタノデアリマス、明治初年以來或ハ制度トシ、或ハ教育ノ方針トシテ示サレタル所モ盡ク之ニ則ツテアルノデアリマシテ、洵ニ能ク我國ノ國體ニ副ヒ、將來ノ日本ノ嚮フベキ所ヲ御示シシテ御定メニナツタノデアリマス、然ルニ悲シイカナ、實力ガ之ニ伴ハナカッタコトヲ自覺セラレマシタ先輩ハ、歐米ヲ觀察セラレテ、到底此ノ理想ノ實現ハ此ノ儘デハ出來ナイト考ヘラレマシタ、當時ノ元勳ヲ初メ活動ヲセラマシタ中心ノ方々ハ、茲ニ急イデ歐米ノ文物ヲ入レルト云フコト、其ノ後ノ國內ノ思想ナリ手段ナリノ違ヒカラ起ツテ參リマシタ諸般ノコトガ錯雜ラシテ、茲ニ歐米ノ文物ヲ入レントシタ、明治十年以後、殊ニ十二年頃カラ盛ニ是ガ唱道セラレ、中ニハ民の說ヲ唱ヘ、民權論ヲ唱ヘ、當

時立憲政治ノ確立御施行等ヲ願出ルト云フヤウナコトモ茲ニ始ツテ居ルノデアリマス、之ニ依ツテ教育ノ方面ニ於テモ、殆ド總テソ制度ヲ歐米ニ採ツテ居リマシテ、當時入ツテ來タモノヲ眺メテ見マスト、米國ニ於テハ御承知ノヤウナ國柄デ實利主義ガ非常ニ流行ツテ居ル、是ハ今日ニ於テモ爭ハレナイ所デアアル、各方面極メテ實利主義デアル、歐羅巴ニ於テハ佛蘭西革命以後ノ思想ニ依ツテ自由主義ノ非常ニ旺盛ナ時代デアリマシテ、此ノ實利主義ト自由主義トノ總テノ諸制度、總テノ風潮ガ我國ニ流レ込シテ參リマシタ、恐ラク明治二十三年憲法御發布當時マデ是ガ流入シテ來テ、之ニ依ツテ大部分ノ基礎ガ作ラレテ居ルヤウニ考ヘマス、政治方面ニ於テハ立憲政治ノ基礎ガ、尊キ聖旨ヲ仰ギ、欽定憲法トシテ御發布ニナリマスト同時ニ、教育方面ニ於テモ教育ニ關スル勅語ヲ賜リマシテ、嚮フ所ガ初メテハツキリ致シタノデアリマス、是ヨリ出發致シテ、我國ノ其ノ後ノ問題ハ、明治初年ノ御精神ヲ實現スル爲メ歐羅巴ヲ參照トシテ建設サレテ參リマシタ、ソレガ日清日露ノ役ヲ經テ初メテ我ニ歸ツテ來タモノト私ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ日露戰爭以後多少ナリトモ我ガ國力ヲ信ジ、我ガ國

柄ニ對シテ、所謂國體ニ對シテ反省ヲ致スト同時ニ、一方ニ非常ナ油斷ガ參リマシタコトガ茲ニ一ツノ端ヲ成シテ、世界大戰ニ依ツテ更ニ思想的ノ世界的混亂ノ後ヲ承ケテ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ或ハ猶太思想ト云フヤウナ、一概ニ申シマスト一ツノ實利主義、自由主義ノ旺盛ナル時代、更ニ共產主義、反對ニ全體主義、此ノ混亂ノ時代ガ今日茲ニ參ツテ居ルノデアリマス、我國ノ各方面ニ活躍セラレル總テノ中堅層ノ人ハ、殊ニ指導階級ニ在ル人ハ、此ノ教ニ依ツテ非常ニ混亂時代ヲ現出シテ居ルモノト私ハ考ヘマス、斯様ニ長ク申上ゲルコトモ、是ダケノ點ヲ考ヘマセスト事容易デナイノデアリマシテ、今日直チニ右カラ左ニ之ヲ動カスト言ヒマシテモ、此ノ經過ヲ經テ參リマシタ我國ノ總テノ制度、此ノ制度ノ中ニ湧イテ來ル所ノ各般ノ思想ト云フモノガ、今日整理スベキ時期ニ到達シテ居ルヤウニ考ヘラレマス、茲ニ私共申上ゲネバナラスト思フノハ、再び立返ツテ明治維新ノ皇謨、即チ五箇條ノ御誓文ヲ拜シ、此ノ御理想ノ實現、皇謨ノ顯現ニ向ツテ進マネバナラス、茲ニ混亂セル世界大戰後ノ大正末期ノ非常ナ困難ナ時代ヲ經マシテ、昭和ノ御代ヲ迎ヘテ——私ハ先般モ豫算總

會デ慥カ中途カラ伺ツタノデアリマスケレドモ、紫宸殿ノ御儀ノ勅語、御踐祚ノ御儀ノ勅語等ヲ御示ニナツテ居リマスルガ、此ノ勅語ハ昭和ノ御代ニ於テ吾々ガ行クベキ一ツノ大方針ヲ御示シニナラレタコトデアツテ、此ノ昭和ノ御代コソ明治維新ノ皇謨ヲ實現ヲシ、我國ノ眞ノ姿ヲ顯現スベキ具體的ノコトヲ御示シニナツタモノト拜スルノデアリマス、今日官吏ノ問題ガ出マシタガ、吏道ノ刷新ニ當ツテモ此ノ勅語ヲ拜シ、明治ノ維新ヲ願ミテ、此ノ七十年間ノ實力養成ヲ一ツノ力トシテ、茲ニ初メテ理想ニ向フベキデハナイカ、斯様ニ考ヘテ教育ニ對シテモ教育勅語ヲ拜シマスト同時ニ、昭和ノ御代ニ於テ踐ムベキ道ヲ明治初年ノ王政復古ノ御精神ト相見合ツテ、茲ニ經濟學等ノ上ニ付テモ、法律ノ上ニ付テモ、社會一般ノ事ニ付テモ、將タ軍事ノ上ニ付テモ、私ハ此ノ必要ガアルト痛感ヲ致シテ居ルノデアリマス、一括シテ屢、申上ゲタノデアリマスルガ、單ニ教育ノミナラズ、一括シテ此ノ點ニ對シテ大反省ヲ促シ、更ニ大キナ研究ヲ新ニ遂ゲテ、初メテ茲ニ東亞新秩序ノ建設、或ハ現時代ニ於ケル所ノ理想ノ發現ガ出來ルノデハアルマイカ、斯ク致シマスルナラバ、敢テ他ノ思想ヲ排撃致シマセヌデモ、自

己ノ理想ノ下ニ向ツテ行ツテ、他ノ長所ヲ
取入レテ行クコトニ依ツテ出來ルノデハア
ルマイカ、故ニ或ハ全體主義ニ偏セズ、或
ハ實利、個人、自由思想ニ墮セズシテ、行ク
ベキ道ヲ茲ニ明ニ持ツテ居ルノデアル、之ヲ
更ニ研究サセル必要ガアルノデハナイカ、
大變ニ長クナリマシタケレドモ、斯ノ如キ
非常ニ困難ナ問題ト私考ヘテ居リマスノ
デ、文部省バカリデナク、今日一ツノ時代ノ
推進力ト言ハレテ居ル所ノ軍部方面ニ於テ
モ大キナ考ヲ茲ニ致サレテ、總テノ方面ガ
此ノ一ツニ向ツテ進マナケレバ、到底文部
省ダケデ教育方面ニ如何ニ焦ツテ見マシテ
モ私ハ實現ハ困難デハアルマイカ、斯ウ考
ヘテ各方面ニ向ツテ此ノ點ヲ實ハ述ベテ居
ル譯デアリマス、又而シテ協力シテ茲ニ打
開ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ル譯デアリマス、御尋ニ對シテ、大變根本
ノ問題デアリマシタノデ、少シク私ノ頭ニ
浮ンデ居ル所ヲ申上ゲテ御答ト致シタイト
思フノデアリマス

○長野(長)委員 非常ニ御抱負ヲ拜聽致シ
マシタケレドモ、大反省、大研究ヲサセル
ト云フ極メテ抽象的ナコトデ、私ハ遺憾ナ
ガラ満足ヲスルコトガ出來ナイノデアリマ
ス、先ヅ私ノ考ヲ申上ゲテ見マスルト、今

ヤ文教ニ關スル國民ノ改革期待ト云フモノ
ハ、大臣ノ言ハレマシタヤウナ概念的ナモ
ノデハ満足サレナイノデアリマス、今ヤ日
本ノ文教ニハ火ガツイテ居リマス、爛頭焦
眉ノ急務トシテ國民皆憂ヘテ居ルノデアリ
マス、ソコデ先ヅ第一ニ私ハ思想ノ混亂、
思想ノ危險ト云フモノハ、國民ノ經濟生活、
政治生活上ニ戀ヘル所ノ此ノ困窮ガ、一番
思想ノ火ヲ呼ブ力デハナイカト思フノデア
リマス、先ヅ之ヲ文部省及ビ文部省系統ノ
官吏ニ付テ考ヘテ見マスルト、是ホド人事
ノ沈滞ヲシタ官廳ト云フモノハ他ニ見ナイ
ノデアリマス、私ハ嘗テ文部省ニ職ヲ奉ジ
タコトガアリマス、然ルニ此ノ頃度々文部省
ニ參リマシテ、廊下デ摺レ違フ青年官吏ガ
昔日同様依然トシテ雇員デアリ囑託デア
ル、依然トシテ本官ナラザル狀態ニ置カレテ居
ル、而モ何レモ相當有能ノ材デア
ル、涙ナ
キヲ得ナイノデアリマス、此ノ沈滞ガ、此
ノ境遇ガ、自ラ思想ノ恐ロシキ弊害ノ火ヲ
呼ブ力トナツテ行ク虞レガアルノデアリマ
ス、最近段々現ハレテ來マスル所ノ彼ノ官
吏ノ思想惡化、文部系統ノ教育官吏及ビ行政
官吏ノ思想惡化ト云フモノハ、其處ニ私ハ
胚胎シテ居ル所ガ大デハナイカト思フ、宜
シク逸材ハ其ノ所ヲ得セシメ、更ニ相當年限

勤續シタ者ハ直轄學校ナリ、地方官廳ノ行
政官ナリニ出シマシテ、サウシテ能ク地方
ノ實情ヲ眺メ、地方民意ノアル所、教育ノ
流弊ヲ捉ヘサセテ、再ビ之ヲ本省ニ入ラシ
メテ其ノ手腕ヲ發揮セシメル、而シテ又地方
ノ學校、官廳等ニ働カシムルト云フガ如ク
致シマシテ、新陳代謝、體驗、修養ヲ積マ
セル所ニ、自ラ清新ノ氣分ガ漲ツテ希望ニ
燃エ、サウシテ思想的脱線トカ、或ハ其ノ
他不平不滿ノ爲ニ能率ノ減退ヲ來スガ如キ
コトハ一掃サレルデハナイカ、又思想ノ是
正ト云フコトニ付キマシテモ、文部省ニハ
各種ノ教育機關ガアリマス、又精神思想ニ
關スル研究所モアリマス、是等ノモノハ果
シテドレダケノ國民ノ期待ニ副ウタル研究
活動ヲ致シテ居ルモノデア
ルカ、次カラ次
ヘト古家ニ繼足シラスルヤウナ教育制度ノ
擴張ト、官吏ノ増員トヲ致シテ居ルヤウナ
現在ノ官界ノ流弊ニ文部省ガ墮シ、其ノ狀
態カラ脱スルコトガ出來ナイヤウナコトデ
アリマシタナラバ、到底文相ノ云ハレルヤ
ウニ明治維新ノ歴史ヲ顧ミマシテモ、私ハ只
今申シタ猶太思想又共產主義思想ノ擊滅、日
本學ノ建設ト云フコトハ出來ヌ、ソコデ私
ハ先程申上ゲテアル、文部大臣ハ隨分ヤリ
ニクイコトデアラウケレドモ、若シアナタ

ガ此ノ神聖ナル文教ノ府ヲ預カラレテ、今
日ノ如ク、アナタノ今マデ言ハレタヤウナ
サウ云フ理由ノ下ニ荏苒日ヲ過シタナラバ、
アナタハ國民ニ對シテ濟ミマセヌ、東亞新
秩序ノ建設ト云フ大問題ニ對シテモ、アナ
タノ貢獻スベキ重要ナル任務ハ脱却サレテ
シマフデアリマセウ、私共ハ微力ナリト雖
モ、アナタニシテ本當ニ決行セラルル御意
思ガアリ、其ノ熱意ト誠意ト實力トヲ發揮
セラレルナラバ、國民ニ呼掛ケテアナタヲ
支援致シマス、今マデノ御答ハ極メテ概念
的デアリ、御遠慮ナサレテ居ル、茲ニ具體
的の方策ガナケレバ、只今私ノ申上ゲタコト
ガ果シテ全體ニ當ツテ居ラヌニシテモ、聽
クベキ所アリトスルナラバ、之ヲ基調ニシ
テ一ツ具體的の方策ヲ速ニ御出シニナツテ、
斷々乎トシテ決行シテ戴キタイ、大臣ハ私
ノ申上ゲタコトガ誤ツテ居ルナラバ御指摘
ヲ願ヒタイ、贊成ナラバ贊成ト御答ヲ願ヒ
タイ、同時ニ此ノ問題ニ付テ具體的ニ入ツ
テ研究ヲナサレ、進ンデ行カレルカト云フ
コトヲ、私モマダ御尋シタイコトガ大分ア
リマスノデ、極メテ簡單ニ直言セラレンコ
トヲ御願申上ゲル次第デアリマス

○荒木國務大臣 具體的問題ト仰セラレル
コトガ、第一點ガ此ノ點ニアルコトヲ諒承

致シマシタ、御話ノ如クニ左様ナ御批判ヲ受ケルベキ點モアラウト存ジマスガ、私ヲ輔佐シテ居ル、文部省ノ各官吏ガ専心努力シテ、今申上ゲタヤウナ方向ニ向フ所ノ非常ナ熱意ヲ持ツテ居ルコトハ、私大臣トシテ實ハ最近之ヲ十分ニ認メテ居ルノデアリマス、併シナガラ今ノ沈滞シテ居ル所ノ人事、之ヲ刷新スルコトニ付キマシテハ當然爲スベキ問題デアリマスルシ、更ニ學歷又ハ其ノ人ノ出身ノ爲ニ自分ノ位地ヲ得ラレナイト云フヤウナコトハ、是ハ今日以後ニ於テ、恰度青年學校ノ問題ト同ジヤウニ、有能ノ材ハ閱歷ノ如何ヲ問ハズ、其ノ長所長所ニ向ツテ所ヲ得セシムルコトガ必要デアラウト存ジマス、此ノ點ハ十分ニ左様ナル風ニ致シタイト考ヘテ居リマス、殊ニ本省ノ改善ヨリ出發スベシト云フ風ニ承ツタノデアリマスガ、著任以來此ノ點ハ督勵致シマシテ、本省ガ極メテ清新ナル氣分ニ満チテ今ノ方針ニ向ツテ行クコトニ付テ督勵ヲシテ居リマスノト、又之ニ副フベキ内部ノ組織施設ノ改善ニ向ツテハ、及バズナガラ機會ヲ得ル毎ニ、又特ニ斯様ナ方法ヲ以テ著々今日爲シツツアルコトデアリマシテ、將來ニ於テモ此ノ點ハ一段ト實現ヲ期シタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 洵ニ御誠意アル御答辯ニ満足致シマシタ、ドウゾ御言葉ノ如ク速ニ御實行サレンコトヲ希望致シマス、更ニ教育一元化ノ問題ニ付キマシテ先程大臣ノ御答ノ中ニ、國民ノ各層ヲ各部面ニ居ル者ヲシテ、總力ヲ發揮シテ之ニ自覺アル援助ヲセシメルト云フ御答ガアリマシタガ、之ニ付テ私ハ從來ノ閱歷トカ、學歷トカ云フガ如キコトハ先ヅ第二義、第三義トセラレルト云フ御意思ニ基カレマシテ、例ヘバ青年學校、實業學校等ニ於キマシテハ、農業ナラバ米ヲ作ル達人、山林ヲ造ル達人、水産加工等ニ極メテ堪能ナル者、其ノ他工業ナラバ精工——精巧ナ技術ヲ持ツタ職工、又商業ナラバ紳商、此ノヤウナ者ヲ初メトシテ、官吏、宗教家、其ノ從事シテ居ル業務ノ如何ヲ問ハズ之ヲ青年學校、實業學校、各種ノ學校ニ關係ヲサセマシテ、サウシテ今日ノ如キ空疎ナル教育、役ニ立タザル概念的ナ教育ノ流弊ヲ根本的ニ一掃スル、所謂私ノ申上ゲル教育ノ一元化ノ大方針ニ付テ、速ニ御取掛リニナル御意思ガアルカナイカ、是モアルカナイカヲ簡單ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 適切ナ御意見デアリマシテ、私共モ同一ニ考ヘテ居ツテ、殊ニ青年

學校及ビ實業學校方面ニ於テハ、此ノ事ノ最も重要性ヲ考ヘテ居リマス、サウ云フ風ナ方向ニ進ミタイト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 次ニ私ハ教權ノ尊重確立ノ問題ニ付テ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、私ハ教育ノ振興ニハ先ヅ有爲ナル教員ガ輩出ヲシテ、其ノ教員ガ其ノ地位ニ安ンジ、其ノ生活ニ安ンジテ、サウシテ擔當スル學問ノ研究、子弟ノ教養ニ向ツテ専心全力ヲ傾倒スルト云フ環境ヲ作ル、而シテ其ノ教育者ノ全人格ガ校風ノ内ニ充滿ヲ致シマシテ、茲ニ初メテ子弟ノ教育ノ全キヲ得ルト考ヘルノデアリマス、故ニ教權ノ尊重確立ト云フコトハ、文部大臣ガ何物ヲ措イテモ確保シテ掛ラナケレバナラス問題デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ今日我國ノ教育界、下ハ幼稚園ヨリ上ハ大學ニ至ルマデ、大臣ノ先程申サレタ幾十万人ノ教育者ガ輩出ヲシマシテ、茲ニ學問ノ爭——私ハ三十二年間教育界ニ直接間接關係シテ居リマシタガ、或ハ統帥權ニ下ニ一貫統制ヲセラレテ居ル軍人生活ヲセラレタ文部大臣ハ御承知ナイカモ知レヌケレドモ、學問ニ依ツテ不正ナル朋黨ヲ作り、又個人主義ニ立脚シ他人ヲ陷レ、他人ヲ排斥シ以テ自己ノ地位ヲ獲得、ヲナス等飽クナキ我慾ヲ跳梁セシメテ

居リマス所ノ醜惡ナル狀態ハ、實ニ驚クベキモノガアルノデアリマス、大臣ハ大學ノ改革ニ手ヲ染メラレマシタガ、是モ一面カラ見レバ、成程思想問題ガ根本デアルト申サレマセウ、惡思想ノ教授ガ居ルト云フコトガ原因カモ知レマセヌ、思想的大罪人が教授ノ中ニ存在シテ居ルカモ知レナイ、ケレドモ之ヲ又他ノ一面ヨリ眺メテ見ルト、實ニ勢力ト勢力ノ對立デアリマス、サウシテ巷間ノ不良ノ徒ニモ見ルコトノ出來ナイ泥仕合、此ノ泥仕合ガ發端トナツテ此ノ醜惡ナル場面ヲ展開シタト云フコトモ閑却シテハナラナイノデアリマス、殊ニ地方ニ於テ其ノ社會的經濟的生活地位ノ極メテ不安ナル狀態ニ置カレテ居ル教育者、此ノ教育者ハ有力ナル學閥ノ下ニ統制ヲセラレタ學校長、教員、ソレカラ官吏、詰リ視學官、學務課長、斯ノ如キ者ノ間ニ構成ヲセラレタ絶大ナル——誤リタル意味ニ於ケル絶大ナル威力ニ依ツテ、神聖ナル教權ヲ蹂躪セラレタ事實ハ少クナイノデアリマス、甚シキハ現ニ——私ハ文部省ニ於テ教育指導監督ノ任ニアル際ニ、常ニ之ヲ時ノ文部大臣ニ直接進言致シテアル、甚シキハ職員錄ヲ教室ノ内ニ持込ミ、生徒ノ面前デ、自ラノ現在ニ於ケル待遇ハ如何デアル、同級者ノ

狀態ハドワデアル、アスコニ缺員ガアルカラ視學官ト連絡シテ自分ノ地位獲得ニ努メルト云フガ如キ、實ニ驚クベキ狀態ガ恐ラク全國ニ行ハレテ居ルノデアリマス、事實私ガ見テ居ル、今日デモ無イトハ言ヘナイト思フノデアリマス、斯様な狀態デアル上ニ、内務大臣ガ地方行政官ノ人權ヲ握ツテ居ル、文部大臣ハ之ヲ握ツテ居ラス、此ノ爲ニ文部大臣ノ行政的威カ行ハレナイ、時ニハ、文部大臣ガ馬鹿野郎デアルト縣廳内デ叫ビ、而モソレガ現在某縣ニ於テ教育界ノ話題ニナツテ、私ハ此處ニ手紙ヲ貰ツテ居ル、而モ其ノ不都合ナル行政官ノ下ニ於テ、最近鐵首ニナツタ實ニ清純潔直、氣骨稜々タル所ノ優良學校長教員ガ犠牲ニナツテ居ル者ガ少クナイ、而モ彼學務課長ハ、内務省ナラ別デアルケレドモ、文部省ガ何ダ、斯ウ申シテ居ルノデアリマス、私ハ茲ニ是等ノ實情ヲ眺メマシテ實ニ深憂ニ堪ヘナイ、是ハ何百万人ノ其ノ縣ノ縣民ノ不幸ノミデハナイ、是ガ全國的ニ轉々トシテ職ヲ教育行政官ニ奉ジ左様ナ文部大臣無視ノ行動ヲナシ、教育行政上ニ惡影響ヲ及ボス時ニハ其ノ弊害ト云フモノハ實ニ絶大デアル、斯様な事實ヲズツト眺メテ見マス、茲ニ私ガ申上デル一例ハ決シテ一例ニアラズ、決

シテ一地方ノ問題ニアラズ、即チ洵ニ文部大臣ガ地方行政官ノ人事ト行政トヲ一元的ニ行フ教育行政ノ一元化、此ノ一元化コソ急務中ノ急務ナルモノデアルト思ヒマスケレドモ、私ハ之ヲ獨斷致シタクナイ、私ハ内務大臣、陸軍大臣、場合ニ依ツタナラバ總理大臣ノ出席ヲ求メテ、本問題ニ對スル所ノ御意見ヲ求メタイト思ツテ居ル、實ニ之ハ國民代表トシテ默シテ默スル能ハザル重大ナル事例デアリマス、多少ノ時間ガ掛リマスガ、此ノ一例ハ全國ニ遍滿セントシテ居ル所ノ惡イ空氣ノ最モ有力ナル一ツノ實例デアルト云フ意味カラ、之ニ對シテ極メテ簡單ニ卒直ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、サテ學校長ハ御眞影ヲ戴キ、畏クモ教育勅語ノ聖旨ニ基イテ部下教員ヲ統率シ、國民教育ニ從事シテ居ルノデゴザイマス、故ニ之ニ對スル行政ハ此ノ神聖サヲ能ク體得致シマシテ、其ノ壇上ニ立ツ公人教育者ニ對シテ絕對ノ敬意ヲ拂ヒツツ慎重ナル行政ヲ執ラナケレバナラスト思ヒマス、殊ニ學校長ノ學校經營ニ對スル所ノ權限、責任、ソレカラ部下教員ノ統率ト云フコトニ付テノ校長ノ立場ト云フモノハ、行政官ハ十分尊重シテ掛ラナケレバナラヌガ、若シ之ニ對シテ行政官ガ不正力ヲ加ヘマシテ、

校長ノ意思ヲ妨ゲ、校長ノ部下統率ノ權力ヲ侵スト云フコトガアツタナラバ許スベカラザルコトデアルト考ヘルノデゴザイマスガ、文部大臣ハ之ヲ如何ニ御覽ニナリマサルカ

○荒木國務大臣 地方ニ於テ屢、今御話ニナルヤウナ事項ヲ耳ニスルコトハ甚ダ遺憾ニモ思ヒ、又教育ノ任ニアル者トシテ洵ニ恐縮ヲ致シテ居ルノデアリマス、是等ハ速ニ改善スルノ必要アリト夙ニ認メテ居リマス、是ガ爲ニ教權ノ確立ヲ致サネバナラス、行政ガ教權ノ中ニ深く立入ルト云フコトハ、其ノ監督ノ範圍ニ於テハ已ムヲ得ナイト存ジマスルケレドモ、今日ノ狀態ハ屢、耳ニ致シマスル所デモアリ、又只今御話ノ點モアルコトデアリ、動モ致シマスルト一ツノ感情ナリ、一ツノ體面ナリ、一ツノ權力ナリノ爲ニ、教育ノ任ニ當ル者ガ落著イテ其ノ天職ヲ全ウスルコトノ出來ナイト認メ得ラレル節ノアリマスコトハ、速ニ之ヲ除去スル必要ガアラウト考ヘテ居リマス、故ニ地方長官ヲ通ジテ學務部長ニ、本省ノ教育ニ關スル總テノ方針等ヲ指示、訓令致シマシテ今後他ノモノニ比シテ最モ重要性ガアルト云フコトヲ自覺セシメテ、而シテ組織ノ上ニ付テモ更ニ是ガ實現ヲスルヤウニ

シタイト只今考ヘテ居ル次第デアリマス

○長野(長)委員 能ク分リマシタガ、ココニ實例ト申シマスルノハ、先般文部督學官ガ九州某縣ノ教育ヲ觀察シマシテ、而シテ其ノ訓練教育ノ成績ハ其ノ縣ハ固ヨリ、全國ニモ稀ナモノデアルト高揚ヲ致シマシタ、而シテ其ノ訓練ノ責任ノ中心ニ當ツテ最モ功績ヲ擧ゲ、是亦優秀ナル教員トシテ、特ニ修身訓化ノ責任ヲ持チ、高等官ノ地位ニ進メラレテ、其ノ學校ノ柱石トシテ、慈父ノ如ク學生ヨリ慕ハレテ居ル理想的教員、過去ニ於キマシテ十幾代ノ校長ニ仕ヘ、皆理想的教員トシテ優遇セラレテ今日ニ至ツタ教員、此ノ教員ニ對シテ、學校長ガ一日縣廳ニ參ツテ、サウシテ歸ツテ來テオ前ヲ女學校長ニ推薦シタゾヨト申シタノデアリマス、然ルニ驚クベシ、其ノ翌日學務課長ヨリ急電ガ來マシテ、速ニ出頭セヨト云フノデ本人ハ直チニ之ヲ校長ニ報告シテ許シ得、必ズヤ學校長ニナルコト思ツテ出頭致シマス、才前ハ酒癖ガアル、酒亂ガアル、ソレデ速ニ辭表ヲ出セト言フ、常識デハ考ヘラレマセヌ、私ハ内務省地方局長ニ之ヲ申シマシタ所ガ、常識デ考ヘラレヌト斯ウ申シタノデアリマス、考ヘラレヌコトガアルカラ速ニ調査セラレタイト要求シ

タノデアリマス此ノ常識デ考ヘラレナイコトガ事實アツタノデアリマス、サテソノ教師本人ハソレヲ峻拒致シマシテ學校ニ歸リマシタ、所ガ今ノ役人ハ、中々斯ウト言ヒ出シタナラバ到底ソレハ退クモノデヤナイ、懲戒免官ト云フヤウナコトヲ、ドウ云フ策ヲ以テヤラレルカモ知レナイカラ、潔ク出シタラ宜カラウト言ツタ、學校長ハ其ノ者ニ對シテ、辭メテモ前ヲ囑託ニシテヤルト縣廳カラ電話ガ掛ツテ來タカラ、ダカラ恩給ヲ合セレバ相當ノ收入ニナルカラ出シタラ宜カラウト言ツタ、ソコデ本人ハ迎モ是ハ一教員トシテハ對抗出來ヌト思ヒマシタ、傍、計略ニ乗ツテ退職願ヲ出シタノデアリマス、サウスルト校長ハモウ用ガナイカラ家ヘ歸リナサイト要求シタ、ソシテ出校ヲ停止シタ、ソレダケデハ洵ニ單ナル話ノヤウデアリマスケレドモ、其ノ後デ校長カラ本人ニ公文ノ手紙モ與ヘタル、洵ニ常識デ考ヘテ有リ得ナイヤウナコトデゴザイマス、斯ウ云フコトガアツタノデアリマス、

原因ハ何カト云フト、校長ノ面前ニ於テ、校長ヲ擁スル學閥的情實の教員及ビ地方ノ紳士ガ加ハリ團結シテ、其ノ教員ノ手足ヲ抑ヘテ居ツテ袋叩キニシタ、而モ其ノ袋叩キニセラレタ人間ガ斯様ナ誠首ト云フ憂キ

目ニ遇ハントシテ居ル、毆ツタ人間ハ其ノ儘ニ措イテアルノデアリマス、此ノ事實ニ對シマシテ文相ニ教權ノ確立、我國文教ノ大本ニ鑑ミタ御裁斷ヲ戴キタイモノデアリマス、果シテ此ノ學務課長ノ執リタル行動ハ正シイモノデアリマセウカ、先ヅ是カラ御尋致シタイノデアリマス

○荒木國務大臣 未ダ詳細ナル報告ニ接シテ居リマセヌノデ、今直チニ此處デ御答スルマデニ至ツテ居リマセヌ、能ク調べテ見マス

○長野(長)委員 本件ノ起リタルコトハ昨午ノ末カラデアリマス、私ハ事實其ノ縣ノ責任アル方面カラノ情報ニ依リマスルト、當局ハ既ニ相當連絡ヲ取ラレテ調査ヲ進メテ居ルカノ如ク考ヘラレマス、又先程御質問ヲ申上ゲタ如ク、學務當局ハ相當文部大臣ノ威令ヲ無視スルガ如キ行動モ執ツテ居ルト云フコトデアリマス、ソレモ何事モ御存ジナイノデアリマス、ソレヲ御問ヒ致シタイ

○荒木國務大臣 マダ十分ナ報告ニ接シテ居リマセヌ、今ノ御話ニナリマシタ事實ヲ能ク調査致シマシテ、之ニ關シテ十分ニ縣廳ノ方ニ對シテモ是等ノ事情ヲ更ニ能ク確メマシテ、之ニ對シテ適當ノ處置ヲ執リタイ

ト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 此ノ事實アリトセバ學校長ハ作爲のナ行動、學務課長ハ詐欺的行動ニ依リ辭表提出デアリ誘導行爲デアル、本人ノ意思ニ反シ、本人ヲ威嚇シテ行動セシメタルコトニ對シ、法律上カラ想起致シマシテ、此ノ問題ニ對スル對處ノ問題、竝ニ單ニ一方的調査ニ依ラナイ十分公平ナル調査ヲ遂ゲル點ト、殊ニ教權ノ確立ニ對スル大臣ノ御方針ヲ此ノ點ニ集中セラレテヤラレル御考デアルカドウカ、甚ダ重ネテ御質問デアリマスケレドモ、内務大臣ニ質問スル關係モアリマスノデ、一應此ノ點ヲ御伺ヲシテ置キタイノデアリマス

○荒木國務大臣 十分ニ調査致シマシテ、其ノ調査ノ結果ニ基イテ、ソコニ非違ガアリマスルナラバ、固ヨリ教育ノ重大ナル任ニ在リマスル者ノ職務ヲ十分ニ思考致シマシテ、教權ヲ何處マデモ尊重スルヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 ソコデ私ハ特ニ念ヲ押シテ御願シテ置キタイ、此ノ教員ハ其ノ縣ニ於テ九代ノ校長ニ任ヘ、私モ嘗テ共ニ職ヲ奉シタ人物デアル、私ハ公人ト致シマシテ、此ノ人間ハ教育者トシテ殆ド理想ニ近キ人物デアルコトヲ絕對ニ保證申上ゲマス、

而シテ此ノ者ハ配屬將校ノ代理ヲ勤メテ居ルノデアリマス、制服ヲ著ケタル時ニ於テ自由ヲ束縛シテ足蹴ニシ、毆ラレタノデアリマス、事極メテ重大デアリマス、ソコデ本問題ハ一方的調査ニ依リ有耶無耶ニシテハナリマセヌ、尙ホ私ノ最近ニ聞知スル所ニ依リマスルト、本人ニ對シテハ俸給ノ支拂ヲ或ル程度マデ停止致シマシテ、干乾シニ致シマシテ、大學入學ヲ近ク控ヘテ居ル者ヲ初メ、二三名ノ子供ノ教育ヲシテ居ル、此ノ教員ニ對シテ、其ノ學校長ハ種々ノ理由ヲ附シテ俸給支拂ヲ停止シタノデアリマス、果シテ學校長ニ斯ノ如キ權限ガアルカ無イカ、縣學務當局ハ之ヲ知ラス答ハアリマセヌ、視學官ト學校長ハ同ジ學校ノ卒業生デアツテ、所謂學閥的行爲アリト一般ヨリ見ラレテ居ルノデアリマシテ、而シテ本人ノ俸給支拂ヲ受ケル權利ト云フモノヲ無視シ、本人ヲ干乾シニ致サウトシタノデアリマス、斯クテ泣寝入りサセテ有耶無耶ノ裡ニ葬ラウトシタ事實モアルノデアリマス、

更ニ最近某代議士ト連絡ヲシテ居ルト云フ噂ガアル、オ前ハ思想問題トシテ相當ノ處置ヲスルト云フコトヲ言ツテ、警察官ガ動キ出シタト云フコトヲ責任アル學校長ガ申シテ威壓セントシテ居ルノデアリマス、斯

クシテ文部督學官ガ認メタル優秀學校ヲ建設スルニ功績アリシ教育者ニ對シテ、有ユル力ヲ以テ壓迫致サウトシテ居ル、故ニ若シ文部大臣ニシテ縣當局ニ依リ一方的調査デ之ヲ處斷スルガ如キコトガアリマシタナラバ、ソレコソ今マデ私ガ述ベタルコトニ對シテノ大臣ノ御所懷ヲ全然裏切ルモノト相成ルノデアリマス、故ニ極メテ自由ニシテ安全ナ形ニ本人ヲ置イテ、今マデアリタル實情、及ビ學校長ノ前デ毆打シタ其ノ後日ニ於テ、教頭以下教員ガ集ツテ酒ヲ飲ンデ凱歌ヲ奏シタ實例ヲ初メトシテ——洵ニ小サイヤウデアリマスケレドモ、是ガ全國的ニヨクアル流弊ノ一例デアリマス、文教ノ振肅ニ缺陷ガアル爲ニ斯ル事實ガ累々トシテ全國ニアル、マダ私ハ幾ラモ其ノ事例ヲ持ツテ居ル、必要ナラバ私ハ出シマスケレドモ、純良ナル教員ガ斯ル理不盡ナ境遇ノ下ニ打チノメサレテ居ルト云フコトヲ御考ニナラレマシテ、サウシテ一方的調査ニ依ツテ權力ヲ發動スルナドト云フガ如キコトノナイヤウニシテ全國的流弊ノ一掃ヲナスコトヲ御願シタイノデアリマス、申スマデモアリマセヌガ、支那ノ賢哲モ申シテ居リマスヤウニ、力ノ政治ホド恐ロシイモノハアリマセヌ、力ノ政治ハ國

ヲ亡ボス、剛ノ中ニ必ズ柔ガナケレバナラヌ、剛ト柔ト伴ハナイ場合ニ國家ハ亡ビルノデアリマス、思想ノ病弊モ斯ル誤マレル剛ニ過ギル政治ノ結果、茲ニ大キナル思想的破綻ヲ釀成スルノデゴザイマス、大臣ノ教育ノ一元化ニ對スル御意見、教權尊重ノ御意見ヲ拜聽致シマスルト、必ズヤ私ハ申ス此ノ本人ニ對シテモ慈愛アル態度ヲ執アレテ、俸給ヲ仕拂ヒ本人ノ生活ノ安全、本人ノ地位ノ安全ヲ確保シタ上ニ於テ、十分ニ心境ヲ吐露セシメ、以テ本問題ガ根本的ニ解決シ、サウシテ本問題ノ處斷ニ依ツテ全國ノ病弊ヲ一掃スルト云フ、茲ニ一ツノ旗幟ヲハツキリセラレタイ、是ガ私ノ希望デゴザイマス、此ノ私ノ希望ヲ容レテ戴イテ、十分ニ御調査ヲシテ戴クコトガ出來ルカドウカ、最後ニ之ヲ御尋申上ゲタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 今續々御述ニナリマシタ精神、又之ニ對スル事實、能ク諒承致シマシタ、事實ニ付テハ十分ニ調査ヲ致シマス、御要望ノ精神ニ付テハ十分諒承致シマシテ、此ノ問題ノ解決ヲ圖リタイト思ヒマス

○長野(長)委員 一寸茲デ簡單ニ結ビヲ申上ゲマス、私ハ斯ル一地方ノ事例ヲ舉ゲマシタケレドモ、是ハ要スルニ文部大臣ガ遺

憾ナク權威アル所ノ御責任ヲ果サレル上ニ於テ、大切ナ根本問題ニ觸レタ實例ト考ヘルノデゴザイマス、ドウシテモ教育行政ノ一元化、即チ行政官ノ人權、サウシテ行政事務ノ運行、是ハ一元的ニナラナケレバナラスト私ハ考ヘル、曾テ私ハ滿洲國ノ教育建設ノ其ノ末席ニ當リマシテ、特ニ地方ニハ教育廳ヲ作り、サウシテ此ノ多難ナル滿洲文化建設ノ根幹ノ實現ニ當ツタコトガアルノデアリマス、ソレ等ノ實例カラ考ヘマシテモ、此ノ教育ノ一元化ト云フコトハ、今日ノ如ク思想問題ガ混亂シ、時局極メテ教育ニ依ル所大ナル時、寸刻ヲ爭ウテ實現シナケレバナラスコトデアルト思フノデアリマス、殊ニ軍事思想ノ徹底ト云フコトハ、是ハ現在及ビ將來ノ世局ヲ眺メマスル時ニ於テ何物ヨリモ私ハ大事ナコトト思フノデアリマス、若シ反軍思想等ガ彼等教育者行政官ノ中ニ存在シ、歷々トシテ其ノ事實ガ斯ル不祥事トシテ發現サレルト云フコトガ萬一アリトシマスナラバ、是コソ恐ルベキコトデアアル、私ノ言フ猶太思想ノ發現ト云フコトハ、サウ云フ點ニモ現ハレテ來ルト見ナケレバナラスコトデアリマス、ソレデ私ハ先ヅ教育行政ノ一元化ト云フコトガ、此ノ多難ナ教育ノ革新、教育内容ノ刷新ト

云フコトニ重要ナモノデアルト考ヘテ、此ノ問題ヲ御質問申上ゲル次第デアリマス

ソコデ內務大臣ハ本日ハドウシテモ時間ガナイト云フコトデスケレドモ、ドウゾ委員長ニ於カレマシテ何トカ——僅カ五分間デモ宜シウゴザイマスカラ內務大臣ノ御出席ヲ願ヒタイノデアリマス……

○野村委員長 分リマシタ

○長野(長)委員 尙ホ申上ゲテ置キマスガ、若シ之ヲ出席不能等ニ藉口シテ回避スルガ如キコトガアリマシタナラバ、之ニ關聯シテ幾多ノ問題ガ發生シテ來テ居リマス、今ヤ教育界ノ輿論ハ本問題ニ集中サレントシテ居ルノデアリマス、若シ斯様ナ問題ヲ遷延スルニ於キマシテハ、歷々タル事實ガ出ル、之ヲ臭イ物ニ蓋フスルヤウニ隱蔽スルト云フコトガアリマシタナラバ、國家ノ爲ニ私ハ憂慮ニ堪ヘナイ、我ガ教育界ノ爲ニ憂慮ニ堪ヘナイ、ドウゾ文部大臣ニ於カレマシテモ內務大臣ニ御交渉ニナリマシテ、僅カ五分間デモ宜シウゴザイマスカラ御出席下サルヤウニ、特ニ一ツ御力説ヲ願ヒタイ、ソレカラ陸軍大臣ニ對シテモ、本問題ニ關聯シテ、我ガ日本教育ニ一涸濁ヲ生ゼントシテ居ル虞ガ多分ニアル、故ニ軍事教育ニ對シテハ陸軍大臣ノ明確ナル御答辯ヲ

願ハナクテハナラヌト思ツテ居ルノデアリマス、單ニ是ハ普通ノ意味デ御呼出シスルノデアリマセヌ、私ハ出テ戴イテ、速ニ本日此處デ解決シナケレバ憂慮スベキ事ガ出來ル、之ヲ理由トシテ要望ヲシテ居ル次第デゴザイマスカラ、何卒五六分間ノ御出席ヲ特ニ御懇請シテ戴キタイト存ズルノデゴザイマス、私ハ先ヅ之ヲ以テ質問ヲ一區切り致シタイト思ヒマス

○野村委員長 私カラ内務大臣、陸軍大臣ニ交渉ヲ致シマス、ソレデハモウ十二時ヲ過ギマシタカラ休憩致シマス、午後一時半カラ始メルコトニ致シマス

午後零時十分休憩

午後一時五十分開議

○野村委員長 是ヨリ開會致シマス

○長野(長)委員 青年學校ノ教員問題ニ付テデアリマス、現在青年學校ノ校長ノ殆ド大部分ハ小學校長ノ兼務デアリマス、從ヒマシテ小學校長ハ非常ナ繁務ヲ背負ウテ、非常ナ過勞ニ陥ル、從ツテ大切ナ國民教育ノ側ガ手薄ニナル虞ガアルノデアリマス、故ニ青年學校長ハ成ベク之ヲ專任トナシ、サウシテ青年學校ノ經營ヲ一層能率的ニスル必要ガアルト思ヒマスガ、特ニ義務制斷行ノ機會デモアリマスルシ、御配慮ニナラレル

コトガ大切デナイカト思ヒマス、之ニ對スル御意見ヲ承リタイ

又專任教員ハ日々朝早くヨリ夜學ニ至ルマデ十數時間ノ勤務ヲ、熱心ニ全ク犧牲的ナ態度ヲ以テ勤メテ居ルノデアリマス、殊ニ專任教員ノ中ニハ無報酬デ、又ハ無報酬ニ近イ程菲薄ナ待遇ノ下ニ働イテ居ル者ガ多イ、指導員ノ如キニ至ツテハ特ニ顯著ナモノデアリマス、仍テ此ノ際ニ是等ノ專任教員ヲ出來ルダケ充實致シマシテ、過勞ニ陥ルコトナク、極メテ能率的ニ本務ヲ遂行セシムルコトノ出來ルヤウニ、多數ノ專任教員ヲ養成シ、又小學校ニ現在勤メテ居ル教員ノ中デ有資格者ガ相當アリマスカラバ、是等モ差支ナイ範圍ニ於テ出來ルダケ青年學校ノ專任教員トシテ採用スル、又待遇ノ如キモ從來ノ如ク地方ノ負擔ヲ多クシテ國庫ノ補助ガ少イ場合ニ於キマシテハ、町村等ニ於キマシテ、俸給ノ高イ爲ニ教員ヲ忌避スルト云フヤウナコトガ多イノデゴザイマシテ、自然地位ノ不安ヲ來シテ居ル、轉々場所ヲ變ヘル爲ニ、一地ニ落著イテ理想郷ノ建設ヲ爲スガ如キ地味ナ働キヲ爲スコトガ出來ナイ、隨テ其ノ教育ノ效果ヲ舉グルコトガ困難デアルト云フコトモ少クナイノデアリマス、故ニ私ハ此ノ際專任教員及ビ

教練指導員ノ如キモノハ、之ヲ國庫負擔トスルコトガ必要デアルト確信ヲスル者デアリマス、又現行制度ニ於キマシテハ、專任教員ノ優秀ナ者ハ奏任官トシテ待遇スルコトニナツテ居ルノデゴザイマスルガ、此ノ數ハ極メテ少數デアリマス、速ニ調査ヲサレマシテ、其ノ功績顯著ニシテ有能ナル者ニ對シテハ、奏任待遇ノ地位ヲ與ヘルコトガ大切デハナイカ、斯クシテ文相ノ抱懷セラレテ居ル所ノ教權ノ伸張ト云フコトモ如實ニ現ハレテ來ルノデアリマシテ、青年教育ノ振興ヲ茲ニ見ルコトガ出來ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、之ニ對スル大臣ノ御意見ヲ承リタイノデゴザイマス、時間ノ關係上二、三項目續ケテ申上ゲマス

次ニ專任教員ハ青年學校教員養成所デ養成ヲ致シテ居ルノデゴザイマスルガ、此ノ教員養成所ナルモノハ、今日一校平均僅ニ九千圓ノ經費デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ教育ノ内容ガ極メテ充實シテ居ナイ、苟モ中等學校又ハ師範學校ヲ卒業シタ者ヲ二年三年ト教育シテ居ルノデゴザイマスカラ、專門學校ノ地位ニ在ル、ソレニ匹敵スル内容ノ充實ヲ致サナクテハナラヌト思ヒマスルガ是ガ出來テ居ナイ、到底斯ル經費ヲ以テシ

テハ出來ナイノデアリマス、ソコデ私ハ國家ガ此ノ青年學校教員養成所ノ經費ヲ負擔シテ——直チニ全部負擔シナイマデモ、相當大部分ノ負擔ヲ致シマシテ、速ニ充實スル必要ガアリハシナイカト考ヘルノデゴザイマス、之ニ對スル大臣ノ御見解ヲ承リタイノデアリマス、更ニ專任教員ト云フモノハ青年教育ニ當ルダケデハナシニ、町村ノ理想的建設ヲシナケレバナラス、曾テ私ガ熊本縣ニ於テ青年教育ノ教員養成ノ事ニ當リ、理想農村ノ建設ヲシタ際ニ、文相ハ幕僚ヲ連レテ參リマシテ親シク視察サレ私モ色々御説明ヲシ、村中ヲ巡ツテ熱心ニ御研究下サツタコトガアルノデアル、既ニ早く斯樣ナ熱心ナ態度ヲ執ラレテ居ル大臣デアルカラ、直チニ大藏大臣ノ諒解ヲ求メテ、青年學校教員ノ養成所ノ充實ヲ圖リ、同時ニ其ノ附屬青年學校ナルモノハ理想農村ノ建設、理想市ノ建設ト云フコトヲ標榜シテ、茲ニ其ノ腕ヲ養ヒ、其ノ人格ヲ鍛鍊シテ、サウシテ任地ニ行ツタナラバ、理想郷ノ建設ヲ標榜シテ青年ヲ指導スルト云フコトニ致スコトガ肝要デハナイカト思フノデアリマス、之ニ對スル御見解ヲ承リタイノデアリマス

又將來ハ專任教員ニ、試補制度ヲ設ケマ

シテ、學校ヲ卒業シテモ一應ハ試補トシテ相當ニ修練セシメ、然ル後ニ之ヲ本官ノ教諭トスルト云フコトニスルナラバ、一層彼等ハ修養ニ努メテ良質ノ教員ニナリハシナイカ、更ニ數年或ハ十數年勤務致シテ居ル教員ヲ招集シテ、之ニ再教育ヲ施スト云フガ如キハ、時局ニ鑑ミマシテモ極メテ大切ナコトデハナイカト考ヘルノデアリマス、以上ハ私ノ教員ヲ尊重スル、教權尊重確立ノ觀念カラ割出シタ意見デアリマシテ、斯ク親切ニ國家ガ教員ノ内容充實ヲ圖ルコトニ於テコソ、初メテ青年教育ノ發達ガアルノデハナイカト思ヒマスルガ、是等ノ點ニ對シテ如何ナル御見解ヲ有セラルルノデアリマセウカ、成ベク簡單ニ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 專任教員竝ニ指導員ノ國庫負擔ノコト、竝ニ奏任官ノ待遇ニ關スル問題、專任教員ノ優遇ニ關スル問題、何レモ必要ナコトデアリマスルガ、財政ノ件フ點モ多イノデアリマスルカラ、ソレ等ノ點ト併セマシテ、出來得ル範圍ニ於テ是等ノ具體化ヲ期シタイト思ヒマス、又教員養成所竝ニ再教育ノ問題、其ノ他教育ノ實質ニ關スル問題ニ付テモ、全ク御意見ノ通りデアラウト存ジマス、多少經費モ計上致シ

居リマスルガ、此ノ進展ト共ニ是等ノ點モ具體的ニ進メタイト考ヘテ居リマス
○長野(長)委員 幸ニ御賛成ヲ戴イタト思ヒマスルケレドモ、由來此ノ委員會ニ於テ言葉ノ應酬ダケデ終ツテハ、結局何時マデ經ツテモ實現ヲシナイノデアリマス、ソコデ私ハ近イ内ニ大藏大臣ニ對シテ、青年教育ノ立場ニ付テノ御見解ヲ伺ツテ、サウシテ重要ナル豫算ノ實現ヲ圖ルヤウニ言明ヲ得タイト考ヘテ居リマス、就キマシテハ只今ノ文部大臣ノ御見解ハ、單ナル一場ノ辭令ニ止マラズ、之ヲ少クトモ次ノ議會マデニハ豫算ノ上ニ具體的ニ計上シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、仍テ私ハ内容ニ互ツテ更ニ御意見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

ソコデ青年學校ノ教員俸給ト云フモノハ、大體下ノ邊マデ給與スル必要ガアルカト云フコトヲ計算シテ見マスルト、男子ノ專任教員給ハ、一万七千校ニ對シテ二千四百十二萬圓、即チ一人平均年額八百四十圓トシマシテ、此ノ數ハ大體二萬五千五百人位ニシナケレバナラスト思フノデアリマス、詰リ一校一人半ノ割合ニナルノデアリマスガ、ソコマデ行カナケレバナラス、其ノ他ノ教員ノ手當ハ約千四百萬圓、合計三千五百万圓程度ニスル必要ガアルト思フノデアリマ

ス、又女子ノ專任教員ニ付キマシテハ、一万七千校ニ付テ一人平均年七百二十圓トシマシテ、千二百二十四萬圓デアル、其ノ他ノ女教員ガ三百四十萬圓、計千五百六十四萬圓、總計シテ三千八百九十二萬圓ト云フ程度ノ計上ガ必要デハナイカト思ヒマス、小學校ノ兒童デサハ四十人内外ニ一人ノ教員ガ當ツテ居ル、一村二三百人ノ男女生徒ヲ教育スルノニ、現在ノ如ク一人ノ專任教員モ居ナイト云フガ如キハ、到底青年教育ヲ義務制トシテ、青年教育ノ徹底ヲ圖ルニ即應シタ施設デハナイト私ハ信ズルノデアリマス、殊ニ現在ノ青年學校ハ放漫ナ經營デハ駄目デアリマス、全ク理想郷ノ建設、郷土愛ノ精神ト、サウシテ郷土ヲ振興スルニ必要ナル資質、能力ヲ青年ニ與ヘル、其ノ大責務ヲ果スダケノ教員ガ充當サレナケレバナラスノデアリマス、此ノ意味ニ於テ、私ハ國家ハ速ニ專任教員ノ最低限ノ充實ニ力ヲ盡サレテ、サウシテ之ニ對スル待遇ヲ十分ニシ、教員ノ地位高マリ俸給ノ高クナル爲ニ地位ノ不安ヲ醸スガ如キコトノナイヤウニ、出來得ルナラバ國家ガ之ヲ全額負擔ヲスルマデニ、一日モ早く努メテ戴カナケレバナラスト考ヘルノデゴザイマス、之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

更ニ設備ニ付テ考ヘテ見マスルニ、本會議デモ説明サレテ居タ如クニ、多クノ學校ガ、青年期ニナリマシテモ尋常小學校時代ニ使ツタ机、腰掛ヲ用ヒサセラレ、隨テ身體ガ曲リ、視力ニモ非常ナ悪影響ヲ來シテ居ルノデアリマス、小學校時代ニ於テ理想的ナ身體ヲ作ツテモ、青年期ニ於テ之ヲ破ツテ居ル、而モ是ガ白日ノ下ニ、此ノ大切ナ青年教育ノ上ニ其ノ儘ニ放置サレテ居ルト云フニ至ツテハ、默視スルコトハ出來ナイノデアリマス、昨年決算委員會ニ於テ文部當局カラ言明ヲ得テ居ルノデアリマス、然ルニ之ニ對シテ満足ナ設備ノ手續ガ進シテ居ナイヤウニ私ハ眺メテ居ルノデアリマス、現在ノ學校一万七千校ニ對シテ、青年教育ニ必要ナ獨立ノ校舍ヲ與ヘル場合ニ於テ、一校平均大體五千圓ト見マシテ八千五百万圓、十年計畫トシテ毎年一千七百校ダケヤルトシテ八百五十萬圓ヲ要スル譯デアリマス、此ノ義務制斷行ノ際ニ於テ、當局ハ此ノ十年計畫ノ下ニ地方ヲ督勵シテ獨立ノ校舍ヲ造リ、體育上由々シキ弊害ヲ醸シツツアル此ノ設備上ノ缺陷ヲ補フ考ガアルカナイカ、簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイ、アルトスルナラバ速ニ其ノ調査ト實現ニ向ツテ不言邁進ヲセラルルノ御自信ガアルカナイカ、

御言明ヲ得タイノデアリマス、更ニ設備ノ點ニ付テ特ニ改善シナケレバナラスノハ實驗、實習ノ設備デアリマス、實驗、實習ト云フコトハ農、工、商等ニ於テ急務中ノ急務デアリ、又家事、裁縫ノ教授ニ於テモ必須デアリマス、然ルニ是亦小學校ノモノヲ代用シテ居ル有様デアリマシテ、全ク青年教育ヲ尊重セザルノ甚シキ狀態ニ放置セラレテ居ルノデアリマス、ソコデ之ニ付テハ約五十萬圓ヲ要スル、教練ノ設備ニ付キマシテモ極メテ不満足ノ狀態ニアリマスルガ、三十餘萬圓ヲ以テ最低限ノ程度ニ於テ充實ヲ得ルト云フ、專門的研究ノ結論ニ到達シテ居ルノデアリマス、更ニ青年教育ノ義務制ハ、本年ハ其ノ第一歩トナルノデアリマシテ、大多數ノ青年ガ尙ホ義務制外ノ過去ノ儘ニ置カレルノデアリマスルケレドモ、時局ハ一日モ速ニ一〇〇%ノ就學出席ヲ見ナクテハナラヌ場合デゴザイマス、ソレデ就學獎勵金ノ如キモノヲ相當ニ組ンデ、貧乏ナ者デモ、又雇傭サレテ居ル不自由ナ青年デモ競ウテ出席ノ出來ルヤウニシナケレバナリマセヌガ、之ニ要スル經費ハ大體五百万圓ヲ最低限度ト見ラレルノデアリマス、更ニ女子ノ義務制ハ一日モ早く實現シナケレバナラナ

イノデゴザイマスルガ、之ニ要スル經費ハ大體三百万圓ノ就學獎勵費ヲ要スルモノト考ヘラレマス、以上ノ經費ハ實ニ急務中ノ急務デアルト考ヘマス、徒ニ義務制ヲ説キ、徒ニ青年教育ノ重要性ヲ叫ビマシテモ、此ノ實行ガ伴ハナケレバ何等ノ效果ヲ舉ゲ得ナイノデアリマス、文部大臣ハ以上ノ事項ニ對シテ、次ノ十五年度ノ豫算計上ニ於テ相當——少クトモ此ノ程度ノ費用ヲ計上スル意思ガアルカナイカ、徒ニ大藏省トノ折衝ヲ憂ヘテ荏苒日ヲ潰スコトハ罪デアルト思ヒマス、私共ハ出來ル限りノ力ヲ出シマシテ、文相ヲ御援助致シタイト思ヒマス、以上ノ費目ハ必要デアルカナイカト云フコトヲ簡單ニ答ヘテ戴キタイ、必要ナリト認ムルナラバ、ソレヲヤルカヤライカ、努メルカ努メナイカト云フコトヲ簡單ニ御答願ヒタイノデアリマス

○荒木國務大臣 教員ノ充實、設備費、實驗實施ニ關スルモノ、又就學獎勵費、是等ノ點ハ何レモ必要ナコト考ヘマス、又私自身トシマシテモ、出來ルダケ之ヲ充實シタイト考ヘマスルガ、御承知ノヤウナ經費ノ伴フコトト、又物ノ關係カラ、例ヘバ設備費ニ致シマシテモ制限ガアルト云フヤウナ點、アレヤ是ヤヲ考ヘマシテ、今御示ニ

ナリマシタヤウナコトガ直チニ實現シ得ルヤ否ヤハ、是ハ別ノ問題デアリマスガ、出來ルダケサウ云フ方面ニ向ツテ努力シテ見タイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 資材ノ關係、豫算ノ關係勿論是ハ重要ナ事項デアリ、當然ノ制限事項デアルトハ考ヘマスケレドモ、現在ノ我國ノ兒童學生ノ向學費ヲ眺メテ見マシテモ、一箇年ノ金額ガ、小學校兒童ニ於テサヘニ十六圓七十八錢、高等學校ニ至ツテハ三百十四圓デアリ、大學ニ於テハ七百六十二圓、專門學校ニ於テハ百九十四圓デアリマス、之ニ對シテ青年教育ニ於テハ僅ニ十三圓デアリマス、小學校兒童ノ半分デアリマス、文部大臣ハ本會議ニ於テ、此ノ比較ハ青年教育ニ對シテ平衡ヲ缺イテ居ルト云フ其ノ資料トシテハ穩健ヲ缺クカノ如キ御答辯ニナツタヤウニ承リマシタケレドモ、私ハ苟モ今日ノ大衆青年ハ、現在國家ノ生産ニ參畫シテ居ルト思ヒマス、一般學生生徒ハ生産ニ參畫シテ居リマセヌ、隨ヒマシテ青年教育ニ金ヲ投ズルコトハ直チニ青年ノ生産擴充、其ノ他社會生活向上ニ對スル貢獻トナツテ現レテ來ルノデアリマス、即チ金ヲ投ズルコト即ヨリ以上ノ收獲、生産ヲ舉ゲテ行クト云フコトニ付テ、經濟上カラ

眺メテ經費ヲ投ズルコトハ積極的節約施設デアルト言ハナケレバナラス、又青年大衆ガ身命ヲ賭シテ懸軍幾千里、海ニ陸ニ勵イテ居ル、又將來働クベキ運命ニアル幾百万ノ銃後ノ青年大衆ガアル、是等愛スベキ青年大衆ノ身ニ想ヲ馳セ感激スルモノハ、其ノ官吏タルト、一般國民タルトヲ問ハズ、此ノ教育充實ノ爲ニ誠意ヲ披瀝シ、十分ナル施設ヲ施スト云フコトガ、即チ銃後國民ノ責任デハナイカ、斯カル感激的ノ責任ヲ果ス所ニ青年ノ士氣ガ鼓舞サレ、國民ノ士氣ガ鼓舞サレルノデアリマス、由來現代ノ社會ガ沈滯シ、官界ト云ハズ、實業界ト云ハズ、中々吾々ノ思フヤウニ緊張シテ來ナイノハ、要スルニ感激、感謝スルト云フコトガ、實際行動ノ上ニ現ハレテ居ラス爲デハナイカ、口ニハ色々言ハレテ居ツテモ實行サレナイ、私ハ將軍大臣荒木文相ガ、眞ニ其ノ使命ヲ果サル意味ニ於テ、一ツ思ヒ切ツテ此ノ勤勞青年、此ノ忠勇ナル青年ニ對スル感激的施設トシテ閣僚ヲ説破シ、速ニ平衡ナル教育制度ノ下ニ十分ナル修養ノ出來ルヤウナ施設ヲセラルルヤウ、努力シテ戴キタイト思フ、又私ハ此ノ機會ニ萬難ヲ排シテ、關係當局ノ言明ヲ得タイト覺悟シテ居ル次第デゴザイマス、

付テハ先ヅ當路者デアル文部大臣カラ之ニ
贊成セラレ眞摯ナル感激の氣分ニナツテ
戴カナケレバ困ルト思フ、如何デアリマス
カ、此處デ一ツ——成程サウダト云フコト
ハ今マデ申サレマシタガ、之ヲ實現スルコ
トニ勇往邁進スルト云フ言明ヲ簡單ニシテ
戴キタイ次第デゴザイマス

○荒木國務大臣 先般來青年學校ニ付テノ
御熱心ニ對シテハ感謝致シマス、私モ其ノ
點ニ付テハ人ニ劣ラナイダケノ熱意ハ持ツ
テ居リマス、屢々繰返シテ申ス通りニ、直チ
ニ其ノ希望ヲ實現スルニハ餘リニ問題ガ大
キノデ、將來ニ對スル效果ヲ舉ゲル上ニ付
テ、直チニ希望ノ通り爲シ得ザルコトヲ洵ニ
遺憾トシテ居ル者デアリマス、左様ナ考デ、
今後此ノ效果ヲ舉ゲルニハ一段ノ努力ヲ國
ヲ舉ゲテ爲スベキデアルト云フ考ヲ持ツテ
居リマスルカラ、此ノ點ダケ申上ゲテ置キ
マス

○長野(長)委員 ドウモハツキリシマセヌ
ガ、此ノ豫算ノ計上ニ向ツテ萬全ノ努力ヲ
拂フト云フ御決心ハアリマセウカ、大臣ト
シテモウ一回御答ヲ願ヒマス

○荒木國務大臣 今御示シナツタ計數ヲ
其ノ儘取入レテ之ヲ豫算ニ移スト云フコト
ニ付テハ、尙ホ慎重考究ノ餘地ガアルト存

ジマス、併シ此ノ目的ヲ達スル爲ニハ最善
ノ努力ヲ盡シ、其ノ豫算ニ付テハ、十分ニ
折衝ヲシテ實現ヲ期シタイ、斯ウ云フ風ニ
考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 青年教育ノ中デ、青年體位
ノ向上ト云フコトハ極メテ肝要ナコトデア
ルト思ヒマス、然ルニ先般御尋ヲ致シマシ
タ如ク、思想上ニ由々シキ現代ニ於キマシ
テハ、體育ノ方面カラ、單ニ體位ノ向上ヲ
圖ルト云フコトデナク、健全ナル身體ノ内
ニ健全ナル精神ヲ宿ラシムルト云フ意味ニ
於テ、日本精神ノ作興ト云フコトト關聯シ
タ青年體育ノ施設ニ努力スルコトガ肝要デ
ハナイカト思ヒマス、特ニ私ハ、體育ト云
フコトハ、單ニ走ルトカ或ハ跳躍スルトカ
云フガ如キ、現在一般ニ行ハレテ居ル體育
ト云フモノノ外ニ、特ニ日常生活ニ必要ナ
ル體格ヲ作ル、ソレカラ體力ヲ調和的ニ發
揮ノ出來ルヤウナ行動ノ修練ト云ヒマスル
カ、ソレヲ建設シナケレバナラナイト思フ、
例ヘバ機械ヲ動カスニ調和的ニ發達シタ
身體ト、鋤鉞ヲ執ツテ農事ニイソシムニ必
要ナル調和的體力ノ發揮ト云フガ如キコト
或ハ身體ノ均衡ナル發達ト云フガ如キコト
ハ、全然趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、
隨ヒマシテ、先ヅ氏神ヲ中心トスル村民生

活、都會生活ト云フモノニ必須ナル、ソレ
ゾレノ職業ニ適切ナル體格ヲ築キ得ル體育
ノ振興ト云フコトガ大切デハナイカ、殊ニ
一國ノ文化ハ大地ノ内カラ萌出ルノデアリ
マス、殊ニ其ノ大地ノ中心ハ氏神デアリマ
ス、我ガ日本ノ社會組織ノ特質カラ考ヘテ

モ、氏神コソ本當ニ國民文化ノ中心デア
ルノデアリマス、ソコデ私ハ、例ヘバ農村ニ
於キマシテハ氏神ヲ中心トスル體育、或ハ
鋤ヲ犁ク所ノ修練、或ハ物ヲ擔グ事、或ハ
耕作ヲスル事、或ハ手仕事ヲスル手工的ノ
事柄、或ハ武道、相撲ト云フヤウナモノニ
至ルマデ、氏神ヲ中心トシテ、生活ニ即シ
タ身體ノ調和的、發達ト共ニ、茲ニ日本精
神ノ確乎不拔ナルモノヲ發揚スベキコトガ
必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、此
ノ新シキ意味ニ於ケル、而モ極メテ切實ナ
ル日本式體育振興ニ御努力ヲセラルル御意
思ハナイカ、是亦簡單ニアルカナイカラ御
答ヲ願ヒタイノデアリマス

○荒木國務大臣 御意見ノ氏神ヲ中心トシ
テノ體位向上、竝ニ自己ノ環境ニ應ジ、職
務ニ應ズル適切ナル體位向上ニ付テハ、全
ク御意見ノヤウナ方法ガ最モ有力ナ一ツノ
方法ト考ヘマス、單ニ「オリムピック」ニ出ル、
或ハ競技ニ耽ルト云フコトダケガ體育ノ最

善ナルモノデアルトハ考ヘテ居ラスノデア
リマス、殊ニ今ノ氏神ヲ中心トシテヤルト
云フ御意見ニ付テハ、先般來モ考慮致シマ
シテ、段々研究ヲシテ居ルヤウナ次第デア
リマス

○長野(長)委員 物ハ研究ダケデハイケマ
セヌカラ、研究ノ進シダモノハ直チニ片ツ
端カラ實行スルヤウニ御願シタイノデアリ
マス、次ニ、都會ノ青年ガ職場カラ直チニ
青年學校ニ出席ヲスルト云フ場合ニ、勤勞
ノ後極メテ汗ニ塗レ油ニ塗レテ不快ナ狀態
ニ居ルノヲ、直グニ一轉シテ修養ノ環境
ニ移スト云フコトニ付テハ、風呂ニ入ラナ
イト中々氣分ガ一轉サレヌノデアリマス、
隨テ最近ハ工場等ニ於テハヨク共同風呂ヲ
拵ヘテ居ルノデアリマス、ケレドモ是ハ、
業務ニ多クノ時間ヲ費ス關係上、農村ニ於
テモ特別ナ地方、比較的ニ人口ノ多イ密集
シタ地方ナドデハ、ヤハリ共同風呂ノ必要
ガアルト存ジマス、地方漁村、農村、山村、
都會ノ別ナク、夜學教育等ヲ能率的ニ行フ
ニハ共同風呂ノ必要モアリ、又榮養ト云フ
點ニ付テモ、私ハ強チ美食ヲサセヨト云フ
意味デハゴザイマセヌガ、今日ノ勤勞青年
ハ食物ト云フコトニ頗ル恵マレテ居ナイ、
市内ノ職工或ハ青年勞務者ガ攝ツテ居ル

日々ノ食堂ニ參ツテ見マシテモ、思ヒ半ニ過グルモノガアリマス、ソコデ此ノ食料ト云フコトニ付テ一考シナケレバナラスト思ヒマスガ、今日農村デハ殆ド鹽ヲ嘗メテ居ルト云フ地方ガ多イノデアリマス、四國ノ或ル地方ノ如キハ米不作ノ爲ニ、モウ三月デ食糧米ガナクナルト云フヤウナ狀態ニ陥ツテ居ル所ガアル、東北ニモヒドイ所ガアルヤウデアリマス、隨テ榮養不良ニ陥ル氣味ガアル、ソレカラ都會ニ於テハ野菜食ト云フモノガ中々困難デアル、隨テ野菜ハ寧ロ肉類ヲ食フヨリモ費用ヲ多ク要スル、斯ウ云フ實情デアツテ、健康ノ上ニ及ボス弊害ガ絶大デアリマス、是ガ直チニ徴兵検査ノ上ニ現ハレテ由々シキ事象ヲ來シテ居ルコトハ、夙ニ大臣ノ御承知ノ所デアリマス、ソレカラ又米ノ問題デアリマスガ、米ヲ食フノニ白米ニスル、而モ此ノ白米ニシタモノニ石粉ガ入ツテ居ルト云フコトデ、近頃混砂米ヲ慶シテ無砂米ニスルト云フヤウナ意見モ出デ居ルノデゴザイマスガ、事ハ學問上、醫學上ノ關係ニ屬スルノデ俄ニ論斷ハ致セマセスケレドモ、是等モ速ニ文部大臣トシテハ、大衆青年ノ教育ニ當ル、詰リ知育、德育ト共ニ體育ノ建設ヲスベキ重要ナ立場ニ居ラレマスル關係上、一日モ速ニ

研究ヲ發表セラレテ、サウシテ適切ナル制度ヲ實施シ、混砂米ガ不都合ナリトスレバ斷平之ヲ廢スルヤウニシテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、先般、前内閣ノ閣議ニ於テハ、農林大臣マデガ此ノ問題ニ對シテ案外輕々ナ御答辯ヲサツタト云フノデ、其後私ハ、米穀國策研究會ヲ組織シテ居ル關係上、有馬大臣ニ面會シマシタ所ガ、大臣ハ其ノ非ヲ悟ラレテ、近ク之ニ付テハ解決ヲサセル積リダカラ、議會ノ問題ニナルマデニ解決ヲスル積リダカラ諒承願ヒタイト云フコトヲ私共ニ答辯ヲサレタノデアリマス、斯ノ如ク米ト云フ主食物ノコトニ於テモマダ政治上極メテ幼稚ナ現狀デゴザイマス、何卒體育當面ノ責任ヲ持タレテ居ル文部大臣トセラレマシテハ、以上ノ榮養上ノ關係、衛生上ノ關係ニ付キマシテモ、速ニ適切ナル施設ヲ行ハレンコトヲ希望シタイノデゴザイマス、又之ニ付テ相當ノ經費ヲ充當シナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、御見解ハ如何デゴザイマセウカ

○荒本國務大臣 段々微細ニ入ツテ御親切ナ御意見ノ一端ヲ御漏ラシ下サイマシテ、能ク拜聴致シマシタ、給食又共同風呂等各、其ノ環境ニ即シテ色々ナヤリ方ガアラウト存ジマス、是等モ將來施設ヲスベキ一ツノ

コトデアラウト考ヘテ居リマス、十分ニ研究シテ、其ノ土地ニ適應スルヤウナ方法ヲ講ジテ見タイト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 文部大臣ニ直接御質問ヲ申上ゲルコトハ、一通リ是デ終ツタノデゴザイマス、併シ先刻モ教育行政ノ一元化ト云フ點ニ付キマシテ文部大臣ニ御答辯ヲ煩ハシタノデゴザイマスルケレドモ、是ハ尙ホ陸軍大臣ト内務大臣ノ御答辯ヲ求メナケレバナラストコトニナツテ居ルノデゴザイマス、而シテ其ノ結果ニ於テ更ニ文部大臣ノ御答辯ヲ求メナケレバナリマセス、同時ニ青年教練ノ事ニ關係ヲ致シマシテ、青年教育法ノ制定、即チ立憲のニ青年教育ノ制度ヲ確立スベシト云フ問題ガ、陸軍大臣ノ御答辯ニ關聯シテ起ツテ來ルノデアリマスカラ、文部大臣ニ對スル質問モ亦茲ニ留保シナケレバナラストデアリマス、甚ダ長時間ヲ要シテ次ノ質疑者ニ恐縮デアリマスルガ、御譲リノ上デ成ベク本日中午ニ殘餘ノ大臣ニ對スル質問ヲ繼續出來ルヤウニ、委員長トシテモ御努力ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

○野村委員長 承知シマシタ

○長野(長)委員 短時間デ宜シウゴザイマスカラ是非ヤツテ戴キタイ、此ノ問題ハ全

國ニ互ツテ續出シツツアル惡弊ノ代表的事例デアアルカラ、私ハ身ヲ挺シテ解決ヲシナケレバナラスト思ツテ居ル次第デゴザイマスカラ、時間ガナイカラドウ斯ウト云フコトハ斷ジテ私ハ許スコトハ出來ヌノデアリマス、其ノ積リデ御願シマス

○野村委員長 今他ノ大臣ノ方ニハ交渉シテ居リマス——曾和君

○曾和委員 私此ノ法案ニ關聯シマシテ二三御伺シタイト思ヒマス、最近國內改革ト云フコトガ段々ト話題ニ上ルノデアリマスガ、國內改革ニハ色々重要點ガアリマセウガ、私ハ人事ノ刷新ト云フ事ガ重要デハナカラウカ、殊ニ教育界ニ於ケル人事ノ刷新ハ急務中ノ急務デハナカラウカト思フ、小ハ小學校カラ大ハ大學校ニ至ルマデ、教育社會ニ蟠ル人事ノ弊害ト云フモノハ、實ニ病膏盲ニ入ルト云フ程度ニ達シテ居ルト存ジマス、最近文部大臣ガ東京帝國大學ノ一部ニ改革ノ手ヲオ著ケナサツタコトニ付キマシテハ、私共衷心贊意ヲ表シテ居リマス、併シナガラ單ニ此ノ一部ニ止マラズ、他ノ專門學校、中等學校乃至小學校等ニ於ケル人事ノ刷新ノ根本ヲ御定メニナツテ、斷然之ニ手ヲ著ケテ戴キタイト云フコトヲ私ハ希望スルノデアリマスガ、先ヅ此ノ法案ニ直接

關係ガアリマスル青年學校ノ教員ニ付テ申シマスルト、大體今日ノ青年學校ノ教員ハ、專任教員ト云フノハ甚ダ少ウゴザイマシテ、主ニ小學校ノ教師ガ兼務シテ居ル、而モ此ノ小學校ノ國民教育ニ從事スル更ニ青年學校ガ義務制ニナリマスルナラバ、一層其ノ關係ガ深クナルノデアリマスルガ、此ノ小學校教育者ノ人格識見等ハ、私ハ上ノ方デ見テゴザル方々ニハ殆ド豫想モ付カヌダラウト思フノデアリマスルガ、實ニ劣等ナ者ガ多イノデアリマス、即チ彼等ノ中ニハ、教育者タル所ノ天職ヲ自覺シナイ、日本尙ホ巧利的ナ、實ニ卑シムベキ精神ノ上ニ立ツテ居ル教育者ガ相當ニアル、ソレガ結局派閥ノ争ニナル、例ヘバ一府縣ニ二ツ以上ノ師範學校ガアル府縣デハ、必ズ此ノ師範學校ノ卒業者ガ互ニ鎬ヲ削ツテ勢力扶植ニ努力スルノデアリマス、又斯様ナコトヲ申上ゲテ、是ハ或ハ速記ヲ削ツテ貰ハナケレバナラスカト思ヒマスガ、教育者ノ一部ニハ、師範學校ヲ卒業シタ時ノ兵役關係ヲ利シテ教育者ニナツテ居ル者ガ無キニシモアラズデアルト云フコトヲ見タトキニ、私共ハ非常ニ寧ロ憂國ノ念ニ驅ラレル、此ノ點ハ此ノ度ノ兵役法ノ改正デ、普通ノ國民ト同ジ取扱ニナリマシタコトハ洵ニ結構デア

リマス、是ハ私昨年ノ兵役法ノ改正ノトキニ委員ニナリマシテ、政府委員ニ質問モシ要望モシタノデアリマス、サウ云フ風ナ教育者ガ一部ニ混ツテ居ル、又一部ニハ、百姓ノ子供デアリナガラ百姓ヲスルノガ嫌ダト云フノデ教員ニナル、而モ教員ノ地位ハ比較的安固デアアル、左様ニ第二義、第三義以下ノ動機、或ハ最モ我ガ日本國民トシテ忌ムベキ動機ヲ以テ教育者ノ席ヲ汚シテ居ル、斯様ナ者ガ更ニ卒業後派閥ヲ組ンデ争フ、私ハ常ニ之ヲ目撃シテ實ニ寒心憂慮ニ堪ヘナイ者デアリマス、ソコデ之ニ對シテハ、先ヅ第一ニ學校長ノ監督ガ適正公平デナケレバナラスノデアリマス、其ノ學校長ガ亦甚ダ不公正、不適正ナ人間ガ多イ、府縣ノ視學ニ取入ルコトヲ専ラ努メ、サウシテ身ノ榮達ヲ圖ル、ソコデ問題ハ更ニ上リマシテ、府縣視學ノ任命銓衡如何ト云フコトニナル、之ニモ亦私共ハ遺憾ノ點ガ多クアルノデアリマス、斯様ニ考ヘテ參リマスルト、我ガ日本國ノ教育制度全般ニ互ツテノ人事ノ刷新——ト申シマスレバ甚ダ廣汎デアツテ、殆ド何カラ手ヲ著ケレバ宜イカ、手段ニ苦シムヤウナ狀態デアリマスルガ、今日マデ之ニ對シテ私共ガ満足シ得ルヤウナ方法ガ少シモ講ゼラレテ居ナイト私ハ信

ズルノデアリマスルガ、私ノ今申上ゲマシタ點ニ付キマシテノ大臣ノ御所見ヲ承ハレマスレバ幸ト存ジマス

○荒木國務大臣 人事刷新、殊ニ小學校ノ最モ重要ナ國民教育ニ當ル者ノ人事刷新、之ニ關スル監督官タル視學ノ刷新デアリマスガ、仰セノ通り左様ナコトヲ折々耳ニ致シマス、又一般カラ申シマシテ、全般ニ必ズシモ満足スベキ狀態デアルトハ考ヘ得ラレマセヌコトヲ、殊ニ今日ノ時代ノ要望ニ對シテ感ズルノデアリマス、此ノ爲ニ今ノ兵役ノ問題モアリマス、又生活ノ安固ニ對スル農村カラ師範ヘノ問題モアリマス、今幸ニ教育審議會ニ於テ師範學校ノ問題モ制度トシテ、又其ノ内容ニ付テモ研究サレテ居リマス、兵役關係ニ付テモ、兵役法ノ改正ト共ニ、進ンデ兵役ニ服シ、國民教育ノ重任ヲ果シ、一旦緩急アレバ義勇公ニ奉ズルト云フ、此ノ點ヲ十分ニ體得シ、之ヲ身ヲ以テ示スト云フヤウナ方面、是等ノ點モ考ヘテ、師範教育ノ内容ニ關シ、是ノ志願者ニ關シ、更ニ待遇等ヲ考慮シタイト思ヒマス、同時ニ今モ丁度青年學校ノ問題ニ觸レマシタガ、今一應是等ノ教員ノ教育ヲ他ノ角度カラシ直ス、サウシテ茲ニ非常ニ崇高ナ考ヲ以テ自ラ進ムト云フ方面、物心兩

方面、内外ノ關係カラ改善シテ行クヤウニシタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、要シマスルニ一方ニ於テ師範ニ關スル所ノ人ノ招致、學校ノ内容、更ニ現在アル所ノ教員ノ再教育ト云フヤウナコトヲ併セテ研究ヲシテ見タイ、又事實之ニ向ツテ著手ヲ致シテ居リマス

○會和委員 只今ノ御答辯デ私非常ニ満足致シマシタ、私ハ決シテ教育ノ價值ハ否定スルモノデハアリマセヌガ、教育ニハ限界ガアル、殊ニ其ノ教育ノ限界ハ客觀的ニ存スルモノデナクシテ、其ノ人ノ個性ニ存スル、デアリマスカラ私ハ天賦ト申シマスルカ、素質絕對デアルト思ヒマス、同様に教育ヲ受ケテモ、素質ノ惡イ者ハドウシテモイカヌ、隨ヒマシテ只今大臣モ仰セラレマシタヤウニ、教育者タラントスル者ノ素質ノ檢定ト申シマスカ、單ナル智能デナシニ私共ノ要求シマスルノハ、立派ナ家ガ大切ナオ嫁サンヲ貰フ時ノヤウニ、有ユル角度カラ調べ、血統マデモ御調べニナル、ソレ位マデシナクテハ嘘ダト思フノデアリマス、兎ニ角師範學校ノ入學生ノ檢定ト、他ノ中等學校、實業學校ノ入學生ノ檢定トニ格段ノ差ヲ設ケテ貰ヒタイト思フ、苟モ將來人ノ師表トナルベキ人ニ對シテハ、自分ノ衣

食ノ料ト云フヤウナモノハ殆ド念トセズシテ、誠心誠意、精魂ヲ打込シテ國民教育ニ當ルダケノ熱意ノアル人ヲ選ブ爲ニハ、今日ノヤウナ簡單ナ師範學校ノ入學試験デナクシテ、十分ナ方法ヲ執ツテ戴キタイ、斯様ニ存ズルノデアリマス、ソレト今一ツハ、現在教職員ノ中デ不都合ナ者ハ或ル程度職ヲ罷メサセル、餘リニ教育界ハ無風狀態デアリマス、非常ニ不埒ナ行爲ヲヤツテ居テ、現ニ父兄モ知ツテ居レバ、町村長モ皆知ツテ居ル、ガ一向府縣當局ハソレヲ懲戒シナイ、サウ云フ事實ハ多々アルノデアリマス、隨テ父兄モ其ノ教育者ヲ信頼シナケレバ、セツハツノ子供デスラ其ノ先生ノ不徳ヲ鳴ラシテ嘲ツテ居ル、斯様ナ教員モ少クナイノデアリマス、勿論是ハ其ノ人ニ取リマスレバ重大ナ問題デアリマシテ、ソレデモ相當年數ヲ重ネテ、恩給デモ取レル人ナラバ兎モ角、ソレ程ノ年限ニ至ラズシテ罷職サレルコトハ氣ノ毒デアリマスケレドモ、是ハ唯一片ノ人情ノミデナク、此ノ時局下ニ國家ノ將來ヲ考ヘル時ニハ、所謂泣イテ馬謖ヲ斬ル、ソレ位ノ覺悟デ以テ府縣當局ガ——大體ニ於テ私ハ小學校、中等學校ノ教師ヲ指シテ申シテ居ルノデアリマスガ、其ノ人間ニ對シテ貰フト云フコトデナケレバ、

國民ノ心ハモウ一層緊張シナイノデハナイカ、如何程精神總動員デ單ナル講演ヲシテ巡ラレテモ、國民ガ日常見セ付ケラレテ居ル、其ノ國民ノ儀表タル人ガ少シモ信頼スルニ足ラナイ、サウ云フ足ラナイ人ガ一部ニアツテモ、彼等ノ全部ガ然ルガ如ク見ルノデアリマス、次ニハ最近ノ小學校ノ校長ナリ、中學校ノ校長ナリガ、會議ヲスルトガ多過ぎマス、私ハ教育ト云フモノハ多數決ノ問題デハナイト思フ、人格ノ問題デアリ、人物ノ問題デアル、勿論今日ノ法制上ニ於キマシテ、一學校ヲ經營致シテ行キマス上ニハ、相當關係ノアル他ノ同種ノ學校ト連絡ヲ取ラナケレバナラス、會議スベキ事項モアリマセウケレドモ、最近ノ彼等ノヤツデ居ル校長會議ナルモノノ内容ヲ見デ、果シテ是レ位ノモノデ時間ヲ費シテ寄ラナケレバナラス必要ガアルガラウカ、常ニ疑フヤウナコトガ度々アルノデアリマス、更ニ斯ウ云フ會議ヲ口實ニシテ會議ニ必要ナキ時間ニ於テモ、校長ノ中ニハヒヨコ——出テ行ク人間ガアル、今日ハ午後會議ガアルノダカラト言ツテ、午前中カラ出テ行ク、何ヲヤツテ居ルカト思フト、私ハ此ノ間或ル「デパート」デ、中等學校ノ校長ガ欠伸ヲシナガラ「シヨトウキンド」ヲ見テ歩イテ居ルヲ見タ、何タル無責任ナ校長カト私ハ思ツタノデスガ、サウ云フ例モ偶ニハアル、即チ是ハ一ニ小學校ナリ中等學校ナリノ教育者ニ對スル監督權ガ殆ド行使サレナイ、即チ無風狀態デアルカラデ、是ガ國民精神ヲ弛緩セシムル上ニ如何ニ役立ツテ居ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、洵ニ空恐ロシク私ハ感ズルノデアリマスガ、當局ニ於カレテハ各府縣廳ニ通牒ヲ發セラレテ、必要ナモノハ仕方ガアリマセヌガ、サウ云フ會議ハ出來得ル限り少クシテ、校長ハ直接自分ノ受持學科ガ有ル無キニ拘ラズ、自分ノ仕事場デアリ、國民ノ鍛鍊道場デアル受持ノ學校ニ常ニ出席シテ、部下ヲ督勵シ、兒童生徒ノ教育ニ專念スベシト云フ位ノ通牒ヲ御發シナサルコトヲ、御考ニナツテ居ラレラウカ、之ニ付テ御考ヲ御伺シタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 師範學校入學資格者ノ檢定ニ付テ特ニ慎重ヲ期スル、智能ノミナラズ徳性及ビ人格其ノ他ニ對シテ考慮スルト云フコトハ、洵ニ必要ナコトト存ジマス、斯様ナ方法モ一段ト力ヲ入レテヤル必要ヲ認メテ、是等ノ實現ニ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス、整理ヲ主トシテ監督竝ニ之ニ對スル處置

ノ問題デアリマスガ、可ナリ平素ヨリ是等ニ對シテ通牒モ發シ、訓令モ出シ、人モ派遣シテ居ルノデアリマスガ、十分ナ陣容モ出來テ居ラスト云フ憾モアツテ、此ノ事ノ實現ガ今御詔ニナツタヤウニ行カナイコトハ甚ダ遺憾ト思ヒマスガ、最近殊ニ此ノ點ニ鑑ミマシテ、地方ニ對スル督學官、敎學官其ノ他體育官等ノ派遣ニ對シテハ、綜合的ニ目標ヲ決メテ、今ノヤウナコトノナイヤウニ、文部省ノ重要ナ地位ニ在ル者ヲモ之ニ加ヘテ府縣廳ニ於テ視察ノ結果、又是等ノ點ヲ十分ニ徹底セシムルヤウニ、直チニ此ノ實現ヲ圖ルベキ實行方法ヲ定メマシテ、既ニ之ニ著手致シテ居リマスルガ、是等モ人員ガ十分ナイ爲ニ、一舉ニ全國ニ向ツテ徹底スルコトノ出來ナイノハ甚ダ遺憾デアリマス、更ニ必要デアレバ其ノ増加ヲ致シマシテ、急速ニ是等ノコトノ效果ヲ擧ゲタイ、又現ニ其ノ實行ニ移リツツアルノデアリマス、此ノ點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、又校長其ノ他ノコトニ對シテノ問題ニ付テ、モウ一段ト考ヘテ見タイト思ヒマスコトハ、今ノ官公立ノ一ツノ弊害、校長自身若クハ其ノ擔任者ガ自ラ打込ンデ行キ得ナイヤウナ機構等モ果ラシテ居ルノデハナイ

カ、此ノ點ニ關シマスルト、私學ノ方面ニ於テハ人格ヲ以テ立ツテ、サウシテ徹底セシムルコトガ出來ルト云フ點モアリマスノデ、ソレヤ是ヤヲ考ヘ、昔ノ塾風等モ考ヘテ、此ノ點ニ付テ何等カノ方法ヲ以テ兩者カラ之ヲ矯正シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、左様御諒承願ヒタイと思ヒマス

○會和委員 次ニ青年學校ノ訓練指導員デアリマスガ、最近ニ於キマシテ全國何レモ在郷軍人ノ將校或ハ下士官、兵等ヲ囑託シテ居リマスルガ、非常ニ是ハ成績ガ好イノデス、全國的ニ國民ガ感謝シテ居ル所ナノデアリマス、然ルニ此ノ事變ノ爲ニ優良ナ指導員ガ次第ニ召集セラレ、私自分ノ村ノ例ヲ取ツテ甚ダ恐縮デアリマスガ、私ノ村デハ適當ナ指導員ガナイ、又在郷軍人ハ殘ツテ居リマスケレドモ、ドウモ指導員トシテ適當ナ人ガナイ、甚ダ此ノ點ニ付キマシテ憂慮致シテ居ルデアリマスガ、之ニ付キマシテハ何等カ之ニ對應スベキ策ヲ御持チデゴザイマセウカ、之ヲ御伺致シタイと思ヒマス

次ニハ又職業科ノ教師デアリマス、主トシテ私ハ農村ノ青年學校ノ職業科ニ付テ申上ゲタイノデアリマス、要スルニ農林、水産ニ關スル教師ナノデアリマスガ、是ガ又

甚ダ出來難イノデアリマス、大抵最近專任教師ト申シマス、職業科ノ教員デアリマスガ、ソレガドウ云フ經歷ヲ持ツテ來ルカト云フト、大抵最近出來テ居リマス青年學校教員養成所ヲ出テ來タ人デア、所ガ是ガ又先程モ申シマス通り、農業ト云フモノヲ嫌フガ爲ニ學校ニ入ツタ連中ナノデア、根本ガ違フ、既ニ出發點ガ違フデアリマス、親父ノ後ヲ繼イテ肥料桶ヲ擔フコトガ嫌ヒダト云フ連中ガ中學校ニ入ル、或ハ農學校ニ入ル、サウシテ教員養成所デ二箇年習ツテ出テ行ク、農學校ヲ出テ教員養成所ヲ出タ者ナラバ適任者デアリマスケレドモ、中學校ヲ出テ二箇年間唯ヤツテ來タト云フヤウナ先生ハ、職業課ノ先生トシテハ寧ロ害ガアルト思フ、單ナル書物ノ上ダケデ農業ノ概念ヲ得テ、實際問題デ生徒ガ聽クト何モ分ラヌ、行詰ツテシマフ、私ハ將來職業課ノ良教師ヲ得ルト云フコトニ付テハ甚ダ困難ダと思ヒマスガ、之ニ付キマシテモ何カ當局ニ於カレテ御名案ヲ御持チニナツテ居ルノカ、御聽キシタイノデアリマス、更ニ教員養成所ハ各縣ニ一箇所大體設ケテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ義務制ヲ實施サレルト共ニ益、此ノ方面ノ教員ノ需要ガ多クナリマスカラ、單ニ量ニ於テノミナラズ、質ノ向

上ニ付テモ、ヤハリ先程申シマシタ師範學校ノ生徒採用ト同ジ意味デ、人ノ師範タル者ヲ養成スルノデアリマスカラ、府縣ノ教員養成所ヲモット充實シナケレバナラス、ト同時ニ府縣ノ費用ト云フモノガ次第ニ嵩ンデ來ルノデアリマシテ、其ノ方面ニ對シテモ政府ハ相當ナル助成ヲシテ戴カナイト、大府縣ナラバサウ云フ學校ニ三萬五萬ノ金ヲ入レマシテモ困ラナイデアリマセウケレドモ、四十數縣アル中ニハ、ヤハリ財政上困難ナ所ガアルデアラウト思ヒマス、サウ云フ方面ニ對スル御用意ガアルノデアルカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス

○荒木國務大臣 青年學校指導員ガ、召集ノ爲ニ缺員ガ多クテ困ル、此ノ點ハ今日ノ惱デアリマシテ、御承知ノヤウナ大軍ヲ出シテ居ル爲ニ、左様ナ者ガ大部分召集サレテ居ルノデアリマス、陸軍ノ方ニ可ナリ交渉ハ致シテ居リマスケレドモ、直チニ此ノ問題ニ付テ、教練指導者トシテノ優良ナ軍隊教育、若クハ戰場ノ體驗ヲ經タ者ヲ得ルト云フコトハ當分困難デハアルマイカ、併シナガラ十分ナル訓練ハ致サナケレバナラヌノデアリマスカラ、其ノ間或ハ兼務ト云フヤウナコトニシテ、急速ニ養成ノ方法ヲ執ルナリ、或ハ廣イ地域ヲ何等カ方法ヲ以

テ巡ルナリシテ、取敢ズサウ云フ人ノ養成ト、助手ヲ作ツテヤルト云フヨリ致シ方ガナイト考ヘテ居リマス、是モ陸軍ノ方ト十分打合セマシテ、又適當ナ方法ヲ執ツテ運用シタナラバ出來ハセヌカト思ヒマス、十分此ノ點ハ考究致シタイと思ヒマス、又交渉モ致シテ居リマス

ソレカラ職業課ノ方ノ問題デアリマスガ、是ハ仰セノ通り校內デ研究シタバカリデハ十分デナイノデアリマス、是ハ地方ノ土地ニ於ケル其ノ方面ノ練達ナ人ニ部分部分ヲ指導シテ貰フヤウニシマシタナラバ、彼ト此ト併セテ實效ガ舉ルノデハナイカト實ハ腹案シテ居ル次第デアリマシテ、青年學校ノ今後ノ指導竝ニ教育ヲ擔任スル人ニ、地方ノソレノ特有ナ人、名望家或ハ特ニソレニ適切ナル人ヲ煩ハスト云フコトガ、寧ロ方途ト一致シテ效果ヲ舉グルノデハナイカト云フ腹案ヲ持ツテ居リマス、サウ云フヤウナ方法ヲ以テ之ニ善處スルコトガ出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

教員養成所ノ問題ニ付テ、殊ニ地方ノ經費ノ負擔ガ多クナルト云フコトニ付テハ御説ノ通りデアリマス、出來ルダケ是等ニ付テハ地方ニ煩ヒヲ掛ケナイヤウニシ、又他方ニ於テハ地方有力者ノ設立セル各種ノ機

關等ヲ通ジテ、是等ノ點ヲ遺憾ナイヤウニ
シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○曾和委員 私直接ノ問題ハ大體ソレデ終
リデアリマスガ、茲ニ昭和十年十一月二十
八日附デ、時ノ文部次官三邊氏ノ名ヲ以テ、
宗教的情操ノ涵養ニ關スル通牒ト云フモノ
ヲ御出シニナツテ居ルノデアリマスガ、之
ニ付テ少シ御伺シタイと思ヒマス、私ハ宗
教問題ニ付キマシテハ一方ナラヌ關心ヲ持
ツテ居ル者デアリマス、隨テ此ノ通牒ガ出
マシタ時、既ニ此ノ通牒ニ對シテ疑問ヲ懷
イタノデアリマス、何レ此ノ問題ハ宗教團
體法案ガ上程サレマシタ時ニ、私ハ詳シク
御質問シタイと思ヒマスガ、此ノ昭和十年
ノ通牒ハ、明治三十二年ノ訓令ニ依リマス
ルト、學校ニハ全然宗教ヲ入レテハナラス、
斯ウ云フモノデアツタノデアリマス、所ガ
最近宗教ト云フモノガ必要ナリト云フ聲ガ
段々ト各方面ニ起ツテ來マスルニ付テ、殊
ニ思想問題ガ發生シマスルニ付テ、此ノ通
牒ヲ發セラレタと思フノデアリマスガ、最
初ノ方ハ「宗派的教育ハ家庭ニ於ケル宗教上
ノ信仰ニ基キテ自然ノ間ニ行ハルト共ニ宗
教團體ノ活動ニヨル教化ニ俟ツモノニシテ
學校教育ハ一切ノ教派宗派教會等ニ對シテ
中立不偏ノ態度ヲ保持スベキモノトス」斯ウ

アルノデアリマス、是ハ所謂信教ノ自由ト云
フ立場カラデアリマセウガ、私ハ今日ノ日
本ノ宗教ノ狀態ヲ混亂迷罔ノ狀態ト名ヅ
ケ、我ガ日本ノ今日ハ宗教ニ關スル限り思
想的亡國ニ瀕シテ居ルト唱ヘテ居リマス、
隨テ斯様ナモノニ依存セズシテ行クト云フ
建前ハ、成程此ノ宗教ノ現狀カラ見テ言ハ
レルコトデアリマスルガ、併シ特定ナル或
ル一ツノ宗教其ノモノニシ入ルノデナケレ
バ、私ハ宗教情操ト云フモノハ養ヘナイト
考ヘテ居リマス、若シ現在ノ各宗派——宗
教ト云フ言葉ニ付テモ私ハ色々意見ガアリ
マスガ、先ヅ世間デ申シテ居ル言葉デ申シ
マス、現在ノ宗教現象ト云フモノヲ通ジタ
或ル概念ハ、大體ハツキリトシタモノヲ誰
デモ持つテ居リマスガ、其ノ宗教的情操ト
云フモノハ臆氣ニハ觀念シ得ラレルノデア
リマスケレドモ、悖テソレナラバ、學校ノ
生徒ニ情操ヲ養ハセルト云フコトニナルト
ドウナルカト云フト、是ハ實際問題デアリ
マシテ、實ニ私ハ困難ナ問題ダト信ジテ居
ルノデアリマス、ソレハ我國ニ放ケル宗教
國策ト云フモノガ確立ヲシテ居ナイカラデ
アル、此ノ問題ニ付キマシテハ、先程申シ
マシタヤウニ宗教團體法案ガ出マシタ時
ニ、私ノ意見ヲ述ベテ伺ヒタイと思ツテ居

ルノデアリマス、教派、宗派、教會等ニ對
シテ中立不偏ノ態度ヲ執ツテ、サウシテ宗
教情操ヲ養ヘト云フノデスカラ、實ニ是ハ
難カシイノデス、ソコデ私ハ其ノ後實際教
育家ニ、何カヤツテ居マスカト言ツテ色々
聽イテ見タ所ガ、「イヤ一向分ラヌカラ私ノ
學校デハヤツテ居マセス」ト言フノガ遺憾
ナガラ多イノデス、又府縣ノ學務課ヘ行ツ
テ、アナタノ方ハ斯ウ云フ通牒ガ出テ居ル
ガ、之ニ付テ中等學校、小學校ヲドウ指導
シテ居マスカト言ツテ聽イテ見タ、私ノ聽
イタ人ハ數府縣ニ互リマスルガ「ドウモ是
ハ難カシイ問題デスカラ、何トモ仕樣ガナ
イノデス」ト言フ、所ガ或ル中等學校ノ校
長ガ私ニ「イヤソレハ私ノ方デヤツテ居マ
ス」ト言フ、ドウ云フコトヲヤツテ居マス
カト聽クト、「四大節或ハ記念日ノ時ニ神
社ニ連レテ參ツテ居リマス」ト言フ、ソコ
デ私ハ是ハ甚ダ小股取ノヤウナ議論ニナリ
マスガ、現在我國ノ政府ハ神社ハ宗教ニア
ラズト云フ建前ヲ採ツテ居ル、之ニモ私ハ
意見ガアリマスガ、長クナリマスカラ申シ
マセヌガ、サウ云フ風ニシテ神社ニ參拜シ
テ敬神ノ念ヲ起サスヤウニスレバ、ヤハリ
教師ノ指導ニ依ツテ宗教的情操ヲ養フコト
ガ出來ルト私ハ思ツテ居ル、併シナガラ其

ノ神社ハ、政府ニ聽イテ見ルト宗教ニアラ
ズト仰シヤツテ居ル、此ノ神社ニ參拜スル
以外ノ方法デ、何カ宗教的情操ヲ養ハナケ
レバナラス、斯ウ云フコトニナツテ來ル、
デアルカラ折角茲ニ長文ノ通牒ヲ御出シニ
ナツテ居ナガラ、本年デ既ニ三年有餘經ツ
ノデアリマスガ、此ノ通牒ノ精神ト云フモ
ノガ活カサレテ居ナイノデハナカラウカト
云フコトヲ憂フル者デアリマス、ソレニ對シ
マシテ、當局ノ方デハドウ云フ風ニ御覽ニナ
ツテ居ルカ、斯ウ云フ風ニヤラセルト云フ
ヤウナ方針ガアルナラバ御示ヲ願ヒタイ、ソ
レト今日ニ至ルマデノ、此ノ通牒ニ依ツテ行
ハレテ居ル實情ガ御分リデアルナラバ御示
ヲ願ヒタイと思フノデアリマス
其ノ次ニ、其ノ通牒ノズツト終リノ方ノ
三ト云フ所ニ、「宗教的情操ノ涵養ニ關シ
學校教育上特ニ留意スベキ事項大凡左ノ如
シ」ト云フコトガ書イテアル、其處ノ一ニ、
修身、公民科デドウシロ、二ニ哲學ノ教授
ニ於テドウシロト云フコトガアル——直接
宗教ノ本質ニ關スルコトニ付テハ後日ニ讓
リマスガ、三ノ「國史ニ於テハ宗教ノ國民
文化ニ及ボシタル影響、偉人ノ受ケタル宗
教的感化、偉大ナル宗教家ノ傳記等ノ取扱
ニ留意スベシ」斯ウ云フコトガアル、此ノ

條項ニ付テ御伺シタイノハ、今日マデノ宗教ト申シマスレバ、明治初年マデハ所謂「キリシタン」宗ハ禁制デアリマシタカラ、先ヅ歴史上ノ大人物ガ宗教ノ影響ヲ受ケタト云ヒマスレバ佛教デアリマス、ソコデ佛教ガ我國ノ文化竝ニ偉人ニ對スル感化等ノ多大デアツタコトヲ認メマスルガ、此ノ反面ニ佛教ガ我國ノ國民精神ニ害毒ヲ流シハシナカツタカ、國民精神ノ發達ヲ阻碍スルコトハナカツタカト云フコトニ付テ、如何ナル御考ヲ持ツテ居ルカ御伺シタイノデアリマス、ソレト今一ツハ此ノ「偉人ノ受ケタル宗教的感化」ト云フコトヲ言ヒマスナラバ、其ノ感化ハ禪宗カラ受ケタモノデアルカ、或ハ眞言宗カラ得タモノデアルカ、或ハ天台宗デ得タルモノデアルカ、或ハ眞宗カラ得タルモノデアルカ、ヤハリソコニ教派、宗派ト云フモノガ必ズアルノデアリマス、私共カラ見マスレバ、各宗派ト云フモノニ對スル感化力ガ違フノデアリマス、親鸞ダカラシテアノ眞宗ヲ説イタ、又其ノ感化ニ依ツテ益、親鸞ト云フ人ヲ完成シタ、詰リ佛教デ所謂回向デアアル、自分ガ説ヲ出シテ、其ノ説ガ又自分ニ向ウテ來テ、ソコニ益、自己ト云フモノヲ完成スル、空海デアツタレバコソアノ眞言宗ト云フモノヲ傳ヘ

テ、之ヲ日本ニ於テ大體日本的ニ完成シタ、勿論偉人ニ依リマシテハ單ニナル宗派デナクシテ、禪宗ノ感化モ受ケテ居レバ、眞言宗ノ感化モ受ケテ居ルト云フコトモアリマスガ、先ヅ大體ニ於テハ一宗一派ヲ熱心ニ信仰シタト云フコトデナケレバ、信念マデ到達スルモノデハナイ、通佛教的ニ有ユル佛ヲ拜ミ巡ルト云フヤウナ人ニ信念ガ出來ル筈ハナイ、ヤハリ一宗ニ凝ラナケレバ噓デアル、一宗ニ凝ラナケレバ宗教ノ感化ト云フモノハナイト、私ハ斯様ニ信ジテ居リマス、サウシマスルト、斯ウ云フ偉人ノ受ケタル感化ト云フコトヲ説クノニハ、必ズヤハリ特定ノ宗派ト云フモノヲ説カナケレバナラナイ、又特ニ其ノ次ニアリマス「偉大ナル宗教家ノ傳記」ト申シマシテモ、ヤハリ宗教家トシテ説クノデアリマスカラ、其ノ人ノ奉ジテ居ル宗派ト云フモノヲ説カナケレバ分ラナイノデアリマス、今日マデノ歴史ニ於テハ佛教ハ唯天台宗ヲ傳ヘタ、或ハ弘法ハ眞言宗ヲ傳ヘタ、日蓮ハ日蓮宗ヲ創メタト云フ位ノコトデアリマスケレドモ、宗教的感化ヲ與ヘヨウト思ツタナラバ、其ノ宗教ノ簡單ナル教理ニマデ立入ツテ教ヘナケレバ感化ヲ與ヘルコトハ出來ナイ、唯傳教、弘法、日蓮、親鸞、是等ハ宗教家デ

アツタト云フ知識ヲ與ヘルナラバ、ソレデ宜シイガ、其ノ時ニ宗教的感化ヲ與ヘルト云フコトニナルナラバ、其ノ教理ヲ簡單ニ説カナケレバナラナイ、シテ見レバヤハリ茲ニ教派、宗派ト云フモノト離ルベカラザル關係ガ生ジテ來ルノデアリマス、更ニ之ヲ源ニ遡ツテ申シマスルト、此ノ第二ノ所ニ「家庭及社會ニ於ケル宗派的教育ニ對シ左ノ態度ヲ保持スベキモノトス一、家庭及社會ニ於テ養成セラレタル宗教心ヲ損フコトナク生徒ノ内心ヨリ發現スル宗教的慾求ニ留意シ苟モ之ヲ輕視シ又ハ侮蔑スルガ如キコトナカラシテ要ス」ト云フノデアリマスルガ、是ハ又難カシイ條項デ、私ノ言フノハ、生徒ノ内心カラ發現スル宗教的慾求ト云フモノヲ留意スルマデ認メ得ラレル教育者ガアルカト言フノデス、宗教ノ道ハ別カラ、或ハ法學ニ通ジ、文學ニ通ジ、歴史ニ通ジテ居ツテモ、宗教ノコトガ分ルトハ言ヘナイ、即チ宗教ノ中ニ入リ込ンデ、身モ魂モ宗教ニ捧ゲテ、何年カ何十年カヤツテ來タ人デナケレバ駄目デス、ソレデモ今日ノ大多數ノ僧侶ノヤウナ、自分ノ職業化シタ信仰デハ駄目デス、眞實ニ人生ノ上ニ宗教ノ内ニ入リ込ンダ其ノ宗

教生活ト云フモノヲ送ツテ來タ者デナケレバ、宗教ト云フモノハ分ラナイノデアリマスカラ、此ノ通牒ヲ府縣知事ガ小學校ナリ中學校ニヤツタ時ニ、小學校ヤ中學校ノ校長ニ是ガ分ル人ガ何人アルカト云フノデス而モ生徒ノ内心カラ宗教的慾求ガ——ソレハ發現スル時ハアル、アリマスガ、是ハ宗教的ナ明細ナル觀察眼ト信念ト經驗トヲ持ツ者デナケレバ分ラス、而モ況ヤ此ノ前段ニアリマス「家庭及社會ニ於テ養成セラレタル宗教心」ト云フモノハ、是ハ果シテ今日ノ社會ニ於テ如何ナル宗教心ト云フモノヲ養ハレテ居ルカ、今日内地千四五百万戸ノ家族ニ付テ申シマシテモ、上ハ高貴ノ方カラ、下ハ匹夫ノ家庭ニ至ルマデ、各家庭ニ於テ先ヅ如何ナル宗教心ヲ養成サレテ居ルカ、本質ニ於テドウ云フ宗教心デアルカ、恐ラク眞ノ宗教ト云フモノヲ辨ヘズシテ、直接ニ吉凶禍福、功利的ナ或ルモノシカ慾求スルノ外ニ出ナイ、隨テ私ハ普通ノ家庭ニ於テ養成セラレタル宗教心ト云フモノハ、寧ロ或ル程度ニ於テ排斥スベキモノデハナイカト私ハ思ツテ居ル、又社會ニ於テ養成セラレタル宗教心ト云フモノモ殆ド同様デアリマシテ、今日世上見マスル所ノ所謂參拜者ト言ヒマスカ、參詣人ト申シマスルカ、

オ寺ト云フノハドウ云フオ寺デアルカ、必ズ直チニ福ヲ授ケル、或ハ直チニ病氣ヲ治シテ呉レル、斯様ナ直接の功利主義ニ唆ラレテ、一般民衆ガ參詣スルオ寺ガ非常ニ繁昌スル、サウシテ其ノオ寺ノヤツテ居ルコトモサウデアリマス、オ寺トシテハ眞ニ衆生救済ト云フヨリモ、成タケ參詣人ヲ多クシテ、サウシテオ寺札ヲ護符ノ販賣所デアル、私ハ最近ハサウデハアリマセヌガ、昨年マデ實ハ熱烈ナル日蓮信者デアツタ、其ノ當時或ルオ寺ニ參詣シテ、サウシテ御蠟燭代トシテ一圓上ゲタ、甚ダ事ハ細カクナリマスガ、是ハ最近ノオ寺ノ現狀ヲ見ル參考ニナルト思ツテ申上ゲマス、サウスルト其處ニ居ル受付ガ「オ名前ハ誰方デゴザイマスカ」ト言フカラ、私ハ大阪ノ某トシテ置イタ「某デヤ工合ガ惡イノデス、受取ヲ出サナケレバナラヌカライケマセヌ」受取ト云ツタツテ此ノオ金ハ君ニ上ゲタノデハナイ、御本尊ニ對シテ御厄介ダガ蠟燭一本デモ上ゲテ戴キタイ、僕ハ御本尊ニ對シテ供養ヲスルノダ、君ニ上ゲタモノナラ君ニ受取ヲ貰フケレドモ、僕ハ君ニ上ゲタノデハナイ、大體君達ハ信用ガナイカラ、受取ヲ出サナケレバ執事ガ承知シナイノダラウ」ト言ウタ所ガ非常ニ恐入ツテ居ツタ、即チ私

共ガ比較的墮落シテ居ナイト思ツテ居ツタ日蓮宗アタリデモ左様ナ狀態デアリマス、況ヤ私ハ他ノ宗門ナドハ最近ハ殊ニ見直シテ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ社會ニ於テ果シテドノ程度ノ宗教心ヲ養ウテ居ルカト云フコトモ、私ハ非常ニ疑フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノノ通牒ハ、先程申シマス通り、我國ノ教育上下レダケノ效果ヲ齎シテ居ルカ、現實ニ最初此ノ通牒ヲ發セラレタ意圖ガ、勿論完全トマデハ行クモノデハアリマセヌ、コンナモノハ「パーセンテージ」ニ現ハセマセヌケレドモ、五〇%モ三〇%モ私ハ此ノ通牒ヲ發シタ意圖ガ行ハレテ居ナイト思ツテ居リマス、併シナガラ假令僅カナリトモ之ヲ行ハセヨウト云フナラバ、唯此ノ一片ノ通牒ヲ出シタダケデハ駄目ダト私ハ思ヒマス、宗教心、宗教情操ナルモノノ分ラナイ教育者ニ對シテ、分リ易ク宗教情操トハコンナモノダ、ダカラソレヲ養フニハ斯ウ云フ方法ガ宜イノダト云フコトヲ御示シニナラナケレバ、私ハ嘯ダト思フノデアリマス、果シテソレニ付テ今日マデ何カオヤリニナツタノデアリマセウカ、或ハ將ニソレニ對シテ何カノ計畫ヲ御立デニナツテ居リマセウカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 宗教ニ關聯シタ訓令ヲ基礎トシテノ宗教教育ニ關スル御質問デアリマシタ、曾ツテ明治三十二年デアリマシタカ、當時ニ於テハ教育ノ中ニ宗教ガ入ルト云フコトハ、御承知ノ通り國教ガ定メラレザル限りハ非常ナ多クノ弊害ヲ及ボス、斯ウ云フコトデ恐ラク當時ノ環境及ビ當時ノ思想カラ訓令ヲ發セラレタモノト思ヒマス、而シテ今段々御示シニナツタコトハ可ナリ難カシイノデアリマスガ、茲ニ當局ノ苦心ガアツタノデアツテ、事ヲ碎キ、其ノ中カラ採ツテ用ヒルト云フコトハ、一ニ其ノ人ノ技倆ニ俟タザルヲ得ナイノデアリマシテ、可ナリ苦心ノアツタコトト思ヒマス、殊ニ宗教ノ關係ハ御承知ノヤウニ、我國ニ於テハ最モ難カシイ一ツノ問題デアリマス、憲法ニ於テ信教ノ自由ヲ許サレ、他方ニ於テ國家ノ宗教トシテノ神社ガ、宗教外ニ立ツテ國民ノ奉行スベキ一ツノコトニナツテ居リマス、茲ニ非常ナ苦心ガアツタコトト思ヒマス、而シテ之ヲ今段々御話ノアリマシタ宗教界ノ狀態、又過去カラ今日ニ至ルマデノ宗教、殊ニ佛教ノ我國ニ及ボシタ貢獻、又今御話ニ依レバ功罪ト云フヤウニモ承ツタノデアリマスガ、或ハ基督教ノ解禁以後ニ於ケル我國ノ宗教界ハ、可ナリ他國ト違ツ

タ非常ニ複雑ナ所ガアルノデアリマス、此ノ間ニアツテ、國民ノ宗教心ガ甚ダ確定ヲシテ居ラスト云フヤウニ御覽ノヤウデアリマスガ、何レニ致シマシテモ宗教ガ必要デアリ、宗教心ガ無クテハナラスト云フコトハ論ズルマデモナイノデアリマシテ、今ノ「ソビエト」如ク、宗教心ヲ全ク奪フト云フコトハ如何ニ人ヲシテ寂シカラシメルカ、又人生トシテノ觀點カラ立チマシテ、是ナクシテ人生ガ恐ラクハ意義アルヤウニ終始スルコトハ私ハ出來ナイト思フノデアリマス、是ハ申スマデモナイコトデアリマスカラ、此處デ敢テ申ス必要ハナイノデアリマスガ、斯様ナ宗教心ヲ如何ニシテ助長スルカト云フコトニ關シテ、此ノ訓令ガ發セラレテ居ルノデアリマス、今御示シニナリマシタヤウナ情念、或ハ家庭ニ於ケル宗教心、或ハ學校ニ於テ宗教又ハ過去ノ宗教若クハ宗教ノ功績、宗教家ノ傳記ヲ舉ゲルト云フコトニ對シテ、直チニ之ヲ以テ満足ナ結果ガ得ラレトハ考ヘマセヌガ、併シ之ヲ運営シテ行ク技術ニ依ツテハ十分ニ養ヘルノデハナイカ、又養ヒ得サセナケレバナラヌノデアリマス、併シナガラ一ツノ教義ノ中ニ入リマシテ、或ハ一ツノ宗派若クハ教派ノ點ニ入ツテ申シマスルト、所謂教育

ト宗教トノ間ニ一ツ避クベカラザル交流ガ出來テ、其ノ爲ニ信教ノ自由ノ上ニ及ボス影響ガ多イノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、隨テ私トシマシテ宗教心ヲ養フ上ニ付テハ、一方ニ於テ何ト致シマシテモ宗教ハ信仰ニ出發スルノデアリマス、信仰ニ基礎ヲ置カナケレバナラスノデアリマス、又宗教ソレ自體ノ運用ト云フモノハ、御承知ノヤウニ非常ニ微妙ナモノデアリマシテ、其ノ微妙ナ人心ノ動キヲ本當ニ指導誘掖ヲシテ行カナケレバナラス所ニ宗教ノ根柢ガアル、或ハ哲學的ニ之ヲ見マサル知識階級ノ人ニ於テモ、私ハ其ノ點ニ付テノ基礎ガナケレバ、宗教ト云フモノハ理解スルコトガ出來ナイノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、隨テ第一ニ先程御話ニナリマシタ神社ニ對スル問題デアリマスガ、敬神崇祖ノ念ト云フコトモ宗教心ノ一ツノ芽生デアリ、發露デアツテ、又ソレ自體ガ宗教ニナルノデアリマス、併シ又報恩感謝ト云フ念モ宗教ノ出發點ノ一ツデアリマス、或ハ哲學ヲ超エテノ人生ヲ達觀シテ行クト云フコトニ對スル情操モ、是一ツノ宗教ノ發露デアリ、宗教心ノ發露デアリマス、斯様ナコトヲ子供ノ内ニ、單ニ唯物的ニ無宗教、功利的、實利的ニノミ考ヘサ

セズシテ、天地自然ノ大ト云フモノハ斯ノ如キモノデアツテ、過去ニ對シ、將來ニ對シテ人生ト云フモノハ斯ク行カナケレバナラスト云フコトノ情操ヲ十分ニ教ヘマスナラバ、自ラソコニ自己ノ環境、自己ノ性質、總テニ於テ自分ノ信ズル所ノ佛教デアレ、或ハ神道デアレ、或ハ基督教デアレ、其ノ他ノ宗教ニモ入り得ルノデハナイカ、ソレダケノ事ヲ學校ニ於テ教育スル必要ガアリ、又ソレダケノ觀念ハ是非教ヘテ行カナケレバナラスノデハナイカ、此ノヤリ方ニ付テハ、實ニ其ノ對象ナル兒童ノ狀態ヲ見テ、茲ニ教員ガ其ノ機會ニ於テ適當ニ之ヲ運營スルヨリ外ナイノデアリマス、然ラバ教員ガサウ云フ情操ガナイデハナイカ、サウ云フ宗教心ガ無いノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御説ニ對シテハ、過去ニ於ケル我が教育ガ遺憾ナガラ其ノ點ニ付テ甚ダ物足りナカツタ點ハ、私モ之ヲ認メザルヲ得ナイノデアリマスガ、斯様ナ點ハ師範學校ナリ一般國民ノ間ニ於ケル情操教育、或ハ宗教ノ關係、或ハ哲學ニ關スル方面ヲ十分盛シニシテ參リマシタナラバ、之ヲ實行シ得ルノデハナカラウカ、其ノ程度ニ於テ此ノ最モ人心ノ微妙ナ所ヲ擱ンデ行キ、其ノ教化、感化ト云フモノハ、最モ

微妙ナ宗教ノ方面ヲ通ジテ、斯クシテ初メテ行ハレルモノデアツテ、一ツノ理窟、一ツノ理解デハ私ハ出來ナイノデアアルマイカ、即チ此ノ機會ニ於テ斯様ナ事ヲスルノガ一番宜イノデハアルマイカ、而シテ今回ノ宗教團體法案デモ實行セラレルト云フヤウニナリマスレバ、旁、以テ是等ノ點ハ宗教ノ方面ト教育ノ方面ニ於テ密接ナ交流ヲ持タセテ、此ノ點ニ關スル萬全ヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ宗教其ノ他ノ問題ニ付テ此ノ席デ申上ゲルノハ時間ヲ要スルト思ヒマスカラ、以上ヲ以テ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○會和委員 只今大臣カラ伺ツタノデアリマスガ、御承知ノ如ク信仰ハ主觀的ナモノデアリマスノデ、宗教ニ關スル大臣ノ御考ヘ方ト云フモノハ左様デアリマセウガ、一般民衆ノ宗教心ト云フモノハ非常ニ程度ガ違フノデス、宗教心ノ根據ハ同ジデアリマスガ、ソレガ今日マデ社會的ニ歴史的ニ段々親カラ子、子カラ孫ト云フヤウナ工合ニ、或ハ引續キ或ル檀家トナリ、或ハ引續キ色々ナ宗教的教化ヲ受ケル上ニ於テ間違ツタ教化ヲ受ケテ居ル、詰リ間違ツタ宗教心ナルモノガ社會ニ流布サレテ居ル、是ガ私ノ非常ニ考ヘテ居ル所ナノデアリマス、隨テ

此ノ通牒ノ第二ニハ、正シキ信仰ハ之ヲ尊重スル云々ト書イテアリマスガ、是モ大臣ニ於カレテハ大臣ノ御考ハ持ツテ居ラレルデセウガ、私ノ言ヒマスノハ、個々ノ教育者ガ、果シテ正シキ信仰ト云フモノハドウ云フモノデアルカト云フ認識ヲ得テ居ルデアラウカ、是ハ小學校ノ教材ニモアルノデアリマスガ、一方ニ迷信ヲ避ケト云フ教材ガアル、是ナンデス、是ガ又最近ノ所謂功利主義的ナ、物質的ナ、單ナル淺薄ナ科學的ナ考ヲ持ツテ居ル所ノ教師ハ、兒童ノ心ノ奥底ニ尊イ宗教心ノ芽生ヘテ居ルノヲ、ソレハ迷信ダト言ツテ撈ツテ居ル、デアリマスカラ正シキ信仰ト迷信トハ何ニ依ツテ明ニスルカト云フコトガ重大問題デアル、迷信ヲ信ズルコトガ其ノ害ガ大ナルト同時ニ、正シキ信仰心ノ芽ヲ摘ムト云フコトガ又人生ニ取ツテ由々シキ大事デアルト云フコトヲ考ヘタ時ニ、此ノ問題ヲ取扱フ上ニ於テハ非常ニ重大ナル關心ヲ要スルノデアツテ、唯此ノ一片ノ通牒ノミヲ出シテ、ソレデ今大臣ガ仰セラレルヤウナ事柄ハ、中々私共トシテハ出來ニクイト思フ、デアリマスカラ私ガ先程伺ヒマシタノハ、此ノ通牒ニ關聯シテ更ニ注意ヲ與ヘラレルカ、御指導ヲサレルカ、或ハ宗教的再教育

ト申シマス、サウ云フ考ヲ御持チデナイ
ノデアアルカト云フコトデアリマス、ソレヲ
簡單ニ一ツ伺ヒタイ

○荒木國務大臣 御話ノ通り吾々モ其ノ點
ニ付テ、迷信ト正シキ信仰ト云フモノニ對
シテノ懸念ヲ十分ニ持つテ居ルノデアリマ
ス、幸ヒ宗教團體法案ノ審議竝ニ是ノ經過、
更ニ今後成立ニ伴ウテ宗教方面ニ關スル一
切ノ問題ヲ組織的ニ常置機關ヲ置イテ、之
ニ依ツテ恐ラク是等ノ御心配ニナルヤウナ
點ヲ漸次解消シテ行ツテ、正シキ宗教心ヲ
養ヒ、而シテ教育ト宗教トノ關係ニ於テ誤
ナキヲ期スルコトガ出來ル、斯ウ信ジテ居
リマス、サウ云フヤウナ方法ヲ執ルベク目
下其ノ手段ヲ執ツテ居ル次第デアリマス
○會和委員 私是デ最後ニ致シマス、只今
大臣ガ宗教團體法案ノコトニ付テ言及サレ
マシタガ、其ノ件ニ關シマシテハ私ハ上程
ニナツテカラ詳シク申上ゲタイと思ツテ居
リマシタガ、簡單ニ唯一點ダケ申上ゲタイ
ノハ、——是ハ甚ダ早マリマシテ、宗教團
體法案ガ上程ニナツテ居ナイノニ申上ゲル
ノデアリマスケレドモ、私ハ我國ノ宗教ト
云フモノニ對シテ獨特ノ考ヲ持つテ居ル、
最近多クノ人ハ餘程其ノ方マデ考ヘテ來テ
居ル、ソレハ何カト云フト、日本ノ神宮神

社ヲ宗主トスル此ノ御祭デアリマス、殊ニ
畏多イコトデアリマスガ、皇室ニ於テ執行
セラレマスル御祭事ヲ學ビ奉ツテ、吾々
國民ガ之ヲ御祭リスルノガ私ハ日本ノ宗教
ナリ、斯ウ考ヘテ居ル、然ラバ他ノ宗教團
體ヲドウスルノカト云フコトニナリマスガ、
詳シイコトハ後日申上ゲマスガ、私ハアノ
宗教團體法案ヲ、ナゼ信教團體法案トシテ
出サナカツタカト考ヘル、アレナラ宗教デ
ハナイ、宗教ト云フモノハモット根本的ナ、
動カスベカラザル、或ガ團體トシテ萬民之
ヲ仰ガザルヲ得ナイモノデナケレバ宗ト云
フ字ハ當テラレナイ、デアルカラシテ他ノ
團體ハ宗教團體トシテ當分計シテ置イテモ
宜イ、私ハ斯ウ考ヘル、デアルカラ私ハアノ
宗教團體法案ニ付テ論議スベキコトハ多々
アリマスガ、唯サウ云フ考ヲ持つテ居ルト
云フコトダケヲ申上ゲテ、將來宗教教育方
面ニ付テハ特別ノ御考慮ヲ御願シテ質問ヲ
打切ル次第デアリマス

○野村委員長 本日ハ此ノ程度デ散會スル
コトニ致シマシテ、明日ハ午前十時カラ開
會致シマス

午後三時四十分散會

昭和十四年二月二十日印刷

昭和十四年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局